LCD モニター

ユーザー マニュアル

色と外観は製品によって異なる場合があり、製品の仕様は
性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

SAMSUNG

目次

安全にお使いいただくために

ご使用になる前に 1-1
お手入れとメンテナンス 1-2
安全のために 1-3

製品の設置

パッケージ内容 2-1
スタンドの取り付け 2-2
ウォール マウントの取り付け 2-3
ネットワークへの接続 2-4
電源の接続 2-5
別のモニターへの接続 2-6
PC との接続 2-7
ステレオ ケーブルの接続 2-8
USB の接続 2-9
ヘッドフォンの接続 2-10
マイクの接続 2-11
Kensington ロック 2-12

製品の使用

PC over IP とは？ 3-1
LAN ケーブルを使用してホスト PC に接続する 3-2
プラグ & プレイ 3-3
標準信号モード表 3-4
デバイス ドライバのインストール 3-5
製品の操作ボタン 3-6
画面調整メニュー (OSD:On Screen Display) の使用 3-7

ソフトウェアのインストール

PCoIP 4-1
Natural Color 4-2
MagicTune 4-3
MultiScreen 4-4

トラブルシューティング

モニターの自己診断 5-1
故障かな？と思ったら 5-2
FAQ 5-3

詳細情報

仕様 6-1
省電力機能 6-2
有料サービスに関する責任 (お客様の負担) 6-3

1　安全にお使いいただくために

1-1　ご使用になる前に

記号について

アイコン	名前	意味
	警告	この内容を守らない場合には思わぬけがをしたり、製品が損傷する恐れがございます。
	備考	機能を操作するためのヒントを示します。

このマニュアルの使用について

- この製品を使用する前に、安全についての予防措置について十分に理解してください。
- 問題が発生した場合には、「トラブルシューティング」のセクションを参照してください。

お客様相談ダイヤル

東雲サービスセンター

0120-327-527

受付時間	平日（土日祭日を除く）9:00~17:00？
ホームページ	http://www.samsung.com/jp
住所	〒135-0062　東京都江東区東雲2-6-38
Fax	03-3527-5533

　予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

著作権について

このマニュアルの内容は、性能を向上させるために事前の予告なく変更される場合があります。

Copyright © **2009 Samsung Electronics Co., Ltd. All Rights Reserved.**

このマニュアルの著作権は、Samsung Electronics, Co., Ltd.が保有しています。

このマニュアルの内容の一部または全部について、いかなる形態においても、Samsung Electronics, Co., Ltd.の書面による許可なく複製、配布または使用することはできません。

SAMSUNG のロゴと SyncMaster は、Samsung Electronics, Co., Ltd.の登録商標です。

Microsoft、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。

VESA、DPM および DDC は、Video Electronics Standard Association の登録商標です。

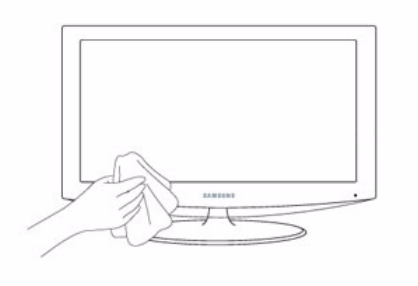
本製品は日本国内用として製造、販売しています。日本国外で使用された場合、当社は責任を負い兼ねます。また、技術相談や、アフターサービスなども国外では行っておりませんのでご注意ください。

本製品は一般OA用として設計・製造されています。一般OA用以外の用途で使用される場合は、保証期間内であっても無償修理の対象外となることがありますのでご注意ください。

1-2 お手入れとメンテナンス

表面と画面のメンテナンス

製品を乾いた湿らせた布で清掃します。



- この製品は、ベンゼンやシンナーなどの可燃性の物質、もしくは濡れた布で清掃してはなりません。製品の故障の原因となることがあります。
- 爪や尖った物で画面をひっかかないようにしてください。
  製品に傷が付いたり破損したりすることがあります。
- 製品に直接水をかけて清掃しないでください。
  製品に水が浸入すると、火災、感電または製品の故障の原因となることがあります。
- 超音波加湿器を使用している場合、光沢のあるモデルの表面に材料固有の特性によって白いしみのようなものが見えるばあいがあります。

外観と色はモデルによって異なります。

残像について

- 静止画像を長時間表示すると、画面上に残像が発生したり画面がぼやけたりする場合があります。製品を長期間使用しない場合には、コンセントから電源コードを外してください。
- LCD パネル メーカーにおける技術的制約によって、この製品に表示される映像の中に約 100 万個に 1 個の割合で通常よりも明るく、または暗く表示されるピクセルがある場合があります。
  サイズごとの LCD パネルのサブピクセル数:サブピクセル数 = 最大水平解像度 x 最大垂直解像度 x 3
  例) 最大解像度が 1280 x 1024 (1920 x 1080) の場合には、サブピクセルの数は 1280 x 1024 (1920 x 1080) x 3 = 3,932,160(6,220,800). となります。

安全面での予防措置に使用されるアイコン

アイコン	名前	意味
	警告	この記号で示された予防措置に従わない場合には、重傷または死亡事故の原因となることがあります。
	警告	この記号で示された予防措置に従わない場合には、傷害事故または財産への損害が発生することがあります。

記号の意味

禁止行為。

分解禁止。

接触禁止。

必ず従ってください。

電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電を防止するために接地 (アース) してください。

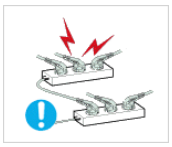
電源に関する注意事項

以下の図はあくまでもイメージです。

警告

破損した電源コードまたはプラグ、がたつきのあるコンセントを使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



ひとつのコンセントに複数の電気製品を接続しないでください。

- コンセントの過熱によって火災が発生することがあります。

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。

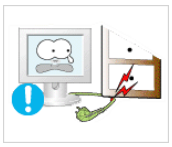
- 感電の原因となることがあります。

電源プラグはしっかりと差し込んでください。

- 火災の原因となることがあります。

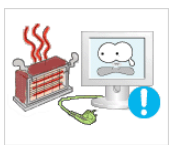
電源コードは、アースされたコンセントに接続してください (絶縁クラス 1 の機器のみ)。

- 感電またはケガの原因となることがあります。



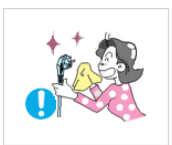
電源コードを無理に曲げたりねじったり、重い物をコードの上に置いたりしないでください。

- 電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



電源コードと製品は、熱源から離しておいてください。

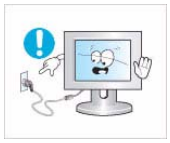
- 感電または火災の原因となることがあります。



電源プラグの先端またはコンセントにほこりが溜まった場合には、乾いた布で清掃してください。

- 火災の原因となることがあります。

警告

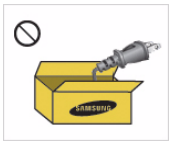


製品の動作中に電源プラグを抜かないでください。

- 感電により製品が破損することがあります。

電源コードをコンセントから抜くときには、コードではなくプラグを持ってください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



弊社が提供する電源コードのみを使用してください。

また、同梱された電源コードを他の電気機器で使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

電源プラグは、手の届きやすいコンセントに接続してください。

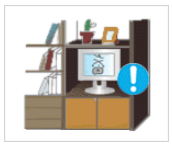
- 製品に問題が発生したときには、電源プラグを抜いて完全に電源をオフにする必要があります。製品の電源ボタンだけでは、電源を完全にオフにすることはできません。

設置に関する注意事項

警告

火のついたろうそく、蚊取り線香またはタバコを製品の上に置いたり、製品を熱源の近くに設置したりしないでください。

- 火災の原因となることがあります。



製品を本棚の中やクローゼットなど、換気の悪い場所に設置しないでください。

- 内部の過熱によって火災の原因になることがあります。

製品の梱包に使用されているビニール袋は、お子様の手の届かないところに置いてください。

- お子様がビニール袋をかぶると、窒息することがあります。

ほこり、湿気 （サウナなど）、油、煙または水 (雨水) にさらされる場所に製品を設置したり、車の中に設置したりしないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。

製品をお子様の手が簡単に届く高さに設置しないでください。

- お子様が製品に触れると、製品が落下してケガの原因となることがあります。
- 製品の前部は重いため、水平で安定した面に設置してください。

製品を壁に設置する場合は、適切な工事業者に依頼してください。

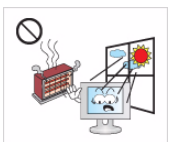
- ケガの原因となることがあります。
- 指定されたウォール マウントを使用してください。

製品の設置時には、換気のために壁から少なくとも 10 cm 離してください。

- 内部の過熱によって火災の原因になることがあります。

不安定な棚や傾いた場所など、安定しない場所や振動にさらされる場所などに製品を設置しないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 振動の多い場所で製品を使用すると、製品の寿命が短くなったり出火の原因となる場合があります。



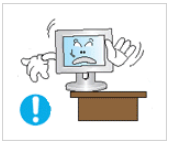
直射日光の当たる場所、炎またはヒーターなどの熱源の近くに製品を置かないでください。

- 製品の寿命が短くなったり、火災の原因になったりする場合があります。

警告

モニターを移動するときには落下に十分ご注意ください。

- 製品の故障またはケガの原因となることがあります。



製品をデスクや棚などに設置する際には、製品がはみ出ないようにしてください。

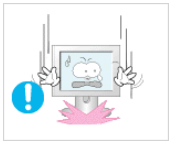
- 製品が落下して、故障やケガの原因となることがあります。
- 製品に合ったサイズのキャビネットや棚を使用してください。

使用環境が大きく変化する場所に製品が設置されている場合には、周囲の環境によって性能に深刻な問題が出る場合があります。この場合には、弊社サービス エンジニアにご相談の上、製品を設置してください。

- 微細なほこり、化学物質、極端な高温または低温、高い湿度にさらされる場所、空港や駅など製品を長時間連続して使用する場所など。

製品の前面を下にして床に置かないでください。

- 製品のパネルが損傷する可能性があります。



製品を降ろすときには、ゆっくりと降ろしてください。

- 製品の故障またはケガの原因となることがあります。

お手入れに関する注意事項

界面活性剤、大量のアルコール、溶媒またはその他の協力な化学物質を使用すると、製品の外装に変色やひび割れが発生したり表面がはがれたりするため、水のみを使用してください。

製品を清掃するときには、電源コードを抜いてください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

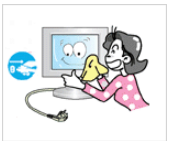
製品を清掃するときには、製品に水を直接かけないでください。

- 水が製品内部に入らないようにしてください。
- 火災、感電、または製品の故障の原因となることがあります。

警告

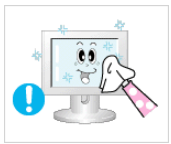
洗剤を製品に直接かけないでください。

- 製品の外装に変色またはひび割れが発生したり、パネルがはがれることがあります。



製品を清掃するときには、電源コードを外して湿らせた柔らかい布で拭き取ります。

- ワックス、ベンゼン、アルコール、殺虫剤、芳香剤、潤滑剤などの化学薬品を使用しないでください。
  外装が変形したり、印字が消えることがあります。



水で湿らせた柔らかい布を使用して、製品を拭きます。

製品の外装はキズが付きやすいため、適切な布を使用してください。拭き取り用の布を少量の水で湿らせて使用します。ただし、布に異物が付着していると外装にキズが付くことがあります。使用する前に、布をよく振るって異物を落としてください。

ご使用の際の注意事項

警告

製品には高電圧が使用されているため、自身で分解、修理または改造を行ってはなりません。

- 火災または感電の原因となることがあります。
- 修理が必要な場合には、お客様相談ダイヤルまでご連絡ください。

製品を移動するときは、電源スイッチをオフにして、電源ケーブルなどの接続ケーブルをすべて取り外してから移動してください。

- 電源コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。

製品から異音、焦げ臭い臭い、または煙が発生している場合には、直ちに電源から外してサービス センターにご連絡ください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

お子様が製品にぶら下がったりよじ登ったりしないようにしてください。

- 製品が落下してケガや死亡事故の原因となることがあります。

製品が落下したりケースが破損した場合には、電源をオフにして電源コードを切り離してください。お客様相談ダイヤルにご連絡ください。

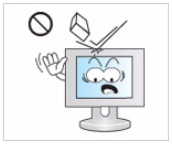
- 火災または感電の原因となることがあります。

玩具や菓子などを製品の上に置かないでください。

- お子様がこれらの物を取ろうとして製品につかまると、製品自体やその上にある物が落下してケガや場合によっては死亡事故の原因となることがあります。

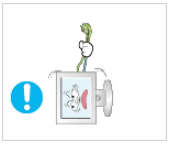
落雷や雷雨があるときは、製品の電源をオフにして電源ケーブルを抜いてください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



製品の上に物を落としたり、製品に衝撃を与えないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

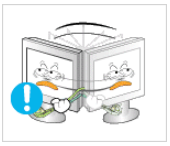


電源コードまたはアンテナ ケーブルを使って製品を引っ張らないでください。

- ケーブルの損傷により、火災、感電または製品の故障の原因となることがあります。

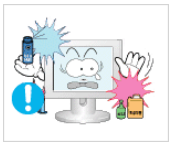
ガス漏れがあった場合には、製品または電源プラグに触れずに直ちに換気を行ってください。

- 火花が発生して爆発または火災の原因となることがあります。



電源コードまたは信号ケーブルだけを持って製品を持ち上げたり引っ張ったりしないでください。

- ケーブルの損傷により、火災、感電または製品の故障の原因となることがあります。



可燃性のスプレーや物を製品の近くで使用したり、製品の近くに置いたりしないでください。

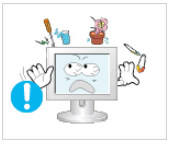
- 爆発または火災の原因となることがあります。

テーブル クロスやカーテンで換気を妨げないようにしてください。

- 内部の過熱によって火災の原因になることがあります。

箸、硬貨やヘアピン、可燃物を製品内 (通気口、ポートなど) に入れないでください。

- 水や異物が製品内に入った場合には、製品の電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜き、お客様相談ダイヤルにご連絡ください。
- 製品の故障、火災または感電の原因となることがあります。



花瓶、植木鉢、飲み物、化粧品や薬品、または金属でできた物を製品の上に置かないでください。

- 水や異物が製品内に入った場合には、製品の電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜き、お客様相談ダイヤルにご連絡ください。
- 製品の故障、火災または感電の原因となることがあります。

警告

静止画像を長時間表示すると、画面上に残像が発生したり画面がぼやけたりする場合があります。

- 製品を長期間使用しない場合には、省電力モードを使用するか動画のスクリーンセイバーを設定してください。

旅行時など長期間製品を使用しない場合には、コンセントから電源コードを外してください。

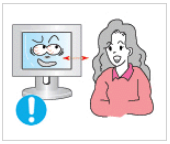
- ほこりが溜まって過熱またはショートが発生したり、感電の原因となることがあります。

製品に適した解像度および周波数を設定します。

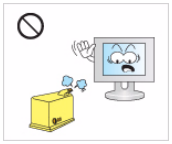
- 疲れ目の原因となることがあります。

スタンドだけを持った状態で、製品のを上下反対にしないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。



製品を近すぎる位置から見続けると、視力が低下することがあります。



製品の近くで加湿器またはコンロを使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

製品の画面を長時間見るときには、定期的 (1 時間に 5 分程度) に休息を入れることが重要です。

- こうすると、疲れ目が緩和されます。

長時間使用した後は表示パネルが高温になっているため、製品に触れないようにしてください。

小さなアクセサリは、お子様の手の届かないところに置いてください。

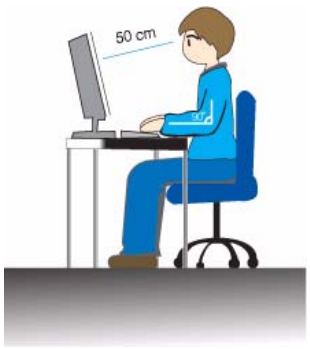
製品の角度またはスタンドの高さを調整するときには注意してください。

- 手や指が挟まれるとケガをすることがあります。
- 製品を傾け過ぎると、落下してケガの原因となることがあります。

製品の上に重い物を載せないでください。

- 製品の故障またはケガの原因となることがあります。

製品を使用するときには正しい姿勢を保つこと



この製品を使用するときには、正しい姿勢を保ってください。

- 背中を伸ばします。
- 眼は画面から 45～50 cm の距離になるようにします。顔を画面の方に向けて、画面を見下ろすようにします。
- この製品を使用するときには、正しい姿勢を保ってください。
- 画面に光が反射しないように製品の角度を調整します。
- 肘が 90 度になるようにし、前腕が手の甲と同じ高さになるようにします。
- 肘を 90 度に保ちます。
- 膝を 90 度以上の角度に保ちながらかかとを床に着け、腕は心臓の高さより低く保つようにします。

2 製品の設置

2-1 パッケージ内容

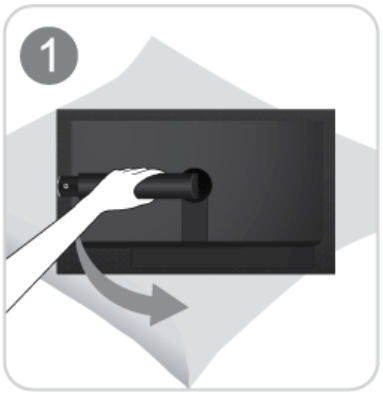
- 製品を開梱し、以下の内容がすべて含まれていることを確認します。
- 製品を運ぶときに必要になりますので、梱包されていた箱は保管しておいてください。

モニター

付属品			
クイック セットアップ ガイド	製品保証書	ユーザー マニュアル	電源コード
オプション部品			
キーボード (USB)	マウス (USB)	D-Sub ケーブル	

2-2　スタンドの取り付け

製品を組み立てる前に、平らで安定した場所に画面を下にして製品を置きます。



製品を保護するために柔らかい布をテーブルの上に置き、前面が下になるように布の上に製品を置きます。

ベースを取り付ける前にストッパー ピンを取り外さないでください。

図のように製品本体を手で持ちます。

スタンド ベースを図に示す方向に向かってスタンド接続部品に挿入します。

スタンド底面にある固定用ネジを回して完全に固定します。

ベースを取り付けたら、モニターを図のように立てます。ストッパー ピンを取り外し、スタンドを調整することができます。

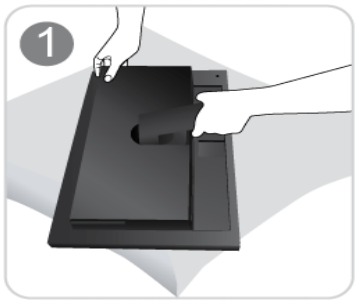
- 警告

スタンドだけを持って製品を持ち上げないでください。

分解は、組み立てと逆の手順で行います。

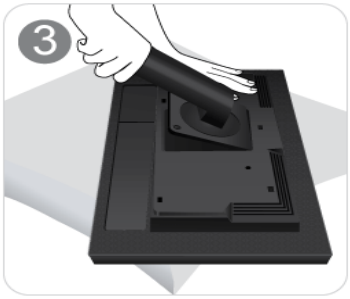
2-3 ウォール マウントの取り付け

取り付け前に、以下の手順に従って製品を分解します。



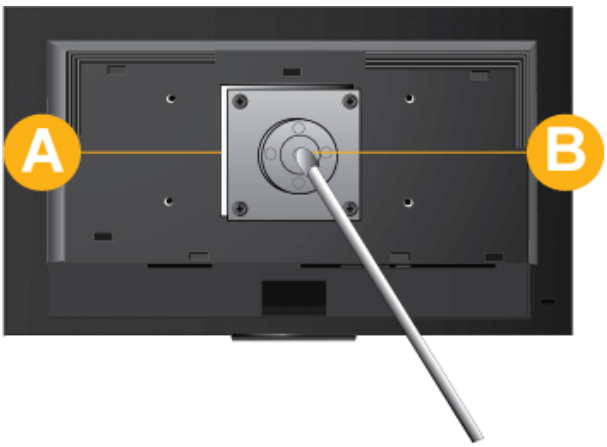
図のように、左手でモニター スタンドを最大限持ち上げ、背面の装飾カバーを右手で取り外します。

2 本のネジ (A) を取り外します。

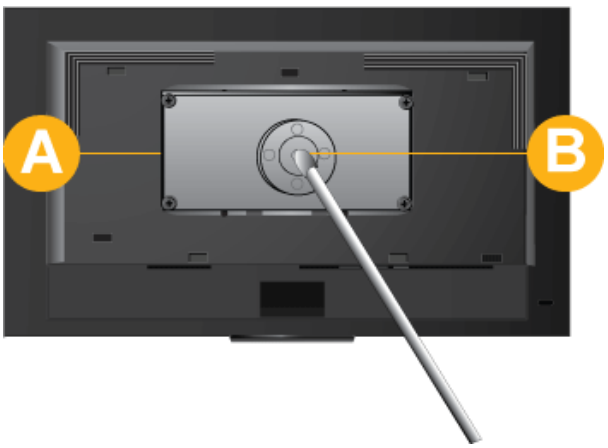


図に示す方向にスタンド アームを外します。

この製品には、VESA 仕様に準拠した 100 mm x 100 mm (200 mm x 100mm) のウォール マウントが付属しています。



100 mm x 100 mm



200 mm x 100 mm

A. ウォール マウント ベース
B. ウォール マウント キット (オプション)

1. 製品をオフにして、コンセントから電源コードを外します。
2. パネルを保護するために平らな面の上に柔らかい布またはクッションを置き、製品を前面を下にして置きます。
3. スタンドを外します。
4. モニターのウォール マウント ベースの溝をウォール マウント キットの溝に合わせ、ネジを締めてウォール マウント キットをしっかりと固定します。

- スタンドの仕様より長いネジを使用すると、製品内部が破損することがあります。
- VESA 規格に準拠していないウォールマウントの場合、それぞれの仕様によってネジの長さが異なることがあります。
- 標準の VESA 仕様に準拠していないネジを使用したり、無理な力をかけて分解しないようにしてください。
  製品の破損や落下によるケガが発生することがあります。Samsung では、製品の破損やケガについては責任を負いません。
- Samsung では、指定された仕様に準拠しないスタンドを使用したり、資格を持つ設置担当者以外が設置を行ったことによって発生した製品の損傷やケガについて責任を負うものではありません。
- ウォール マウントを使用して製品を設置するときには、少なくとも壁から 10 cm (4 インチ) の距離を保てるウォール マウントを購入してください。
- Samsung では、指定された仕様に合致しないスタンドを使用したことによって発生した任意の問題について責任を負うものではありません。
- お住まいの国での仕様に従ってウォール マウントを使用してください。

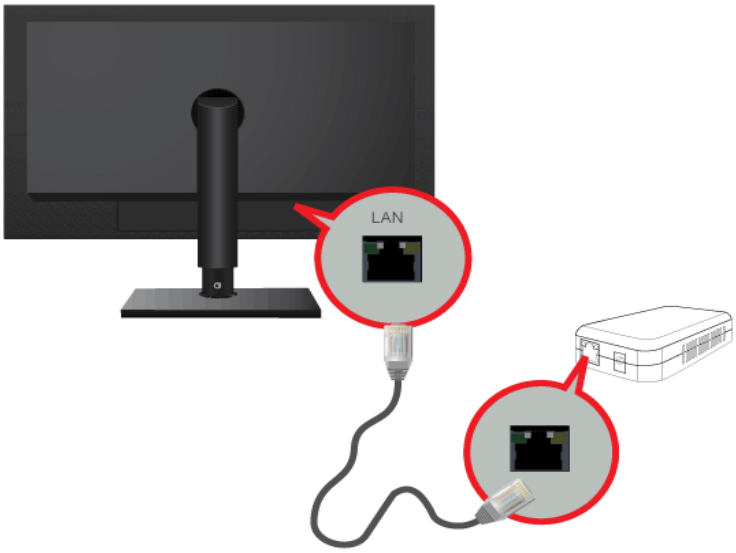
2-4 ネットワークへの接続

接続部分は製品のモデルによって異なる場合があります。

製品の [LAN] ポートとネットワークを LAN ケーブルを使用して接続します。

2 つの [LAN] ポートは、インターネット ハブとして動作するように設計されています。一方のポートを入力側として、もう一方のポートを出力側として製品を外部インターネット デバイスに接続するのに使用できます。どちらのポートも、入力と出力のどちらにも使用できます。

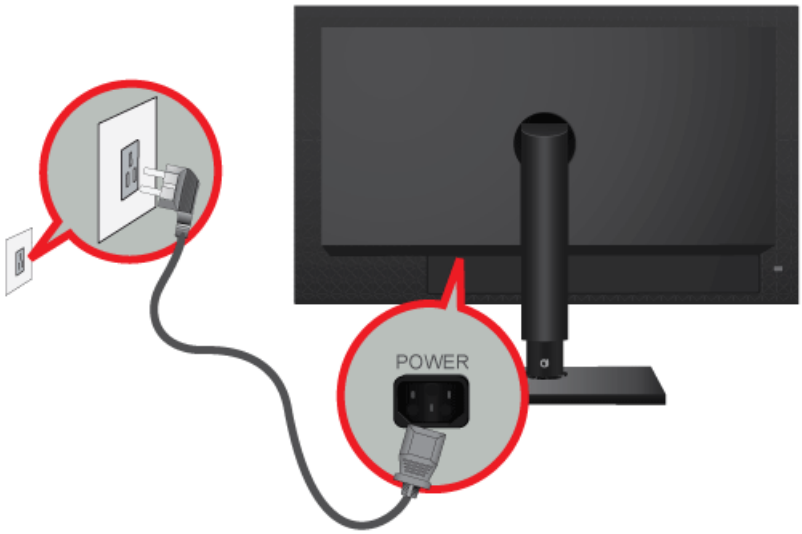
- 接続には カテゴリー 5 (*STP タイプ) のケーブルをご使用ください。
  *Shielded Twist Pair (ツイストペアケーブル) (NC190 のみ)



2-5 電源の接続

製品を使用するには、電源ケーブルをコンセントと製品の [POWER] ポートに接続します。

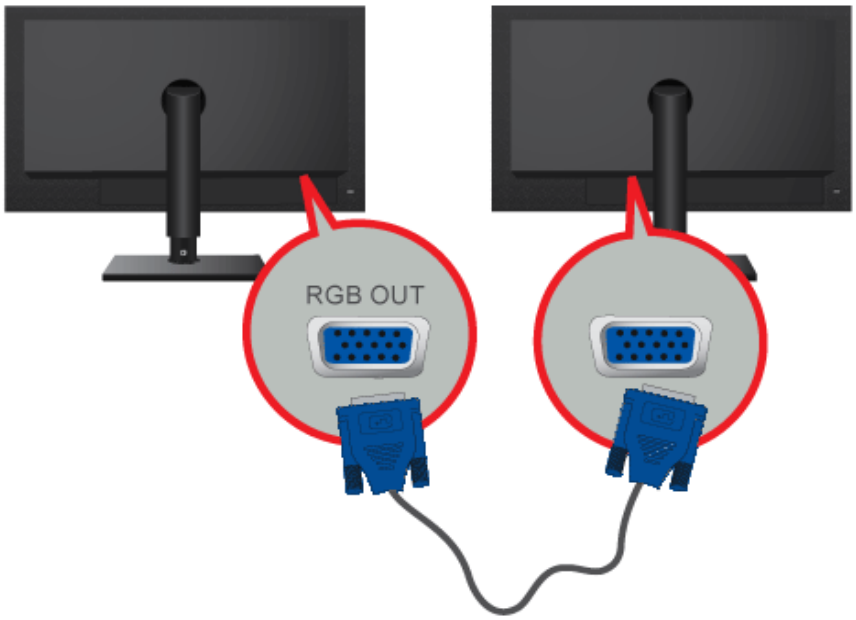
(電源電圧は自動的に切り替わります).



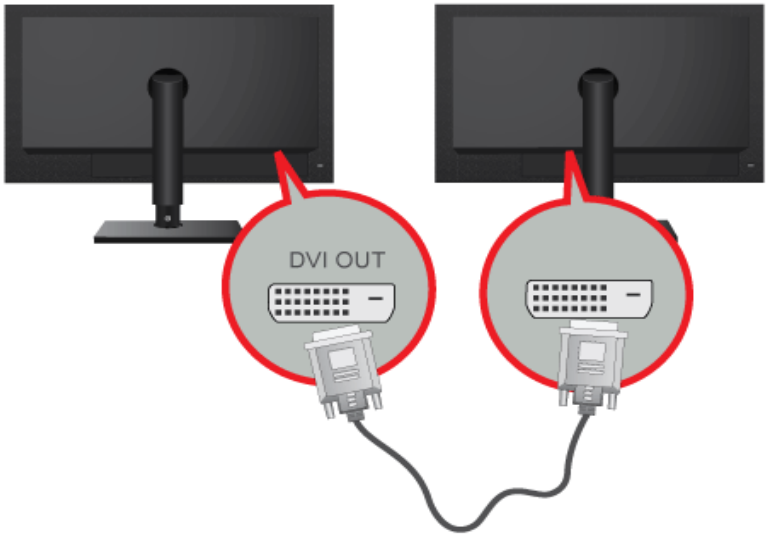
2-6 別のモニターへの接続

モニターに適した接続方法を選択してください。

- [RGB OUT] ポートを使用する場合
  - 製品の [RGB OUT] ポートとモニターの D-Sub ポートを D-Sub ケーブルを使用して接続します。



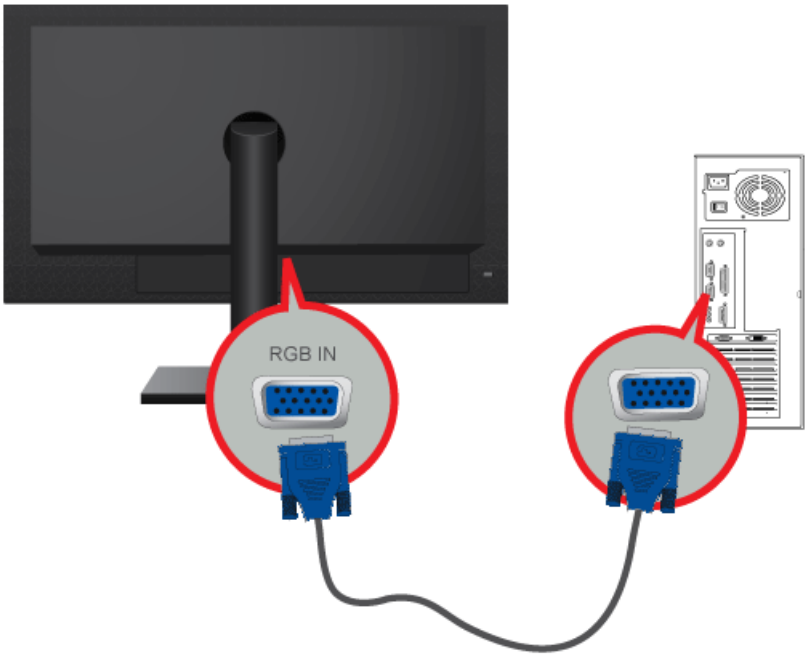
- [DVI OUT] ポートを使用する場合
  - 製品の [DVI OUT] ポートとモニターの DVI ポートを DVI ケーブルを使用して接続します。



[DVI OUT], [RGB OUT]ポートを接続して、同じ画面をプロジェクターなどの他のモニターで表示します。
（プレゼンテーション用）

2-7 PC との接続

製品の [RGB IN] ポートと PC の [D-Sub] ポートを D-Sub ケーブルで接続します。



[RGB IN]ポートを使用して、モニターをPCに直接接続します。

2-8 ステレオ ケーブルの接続

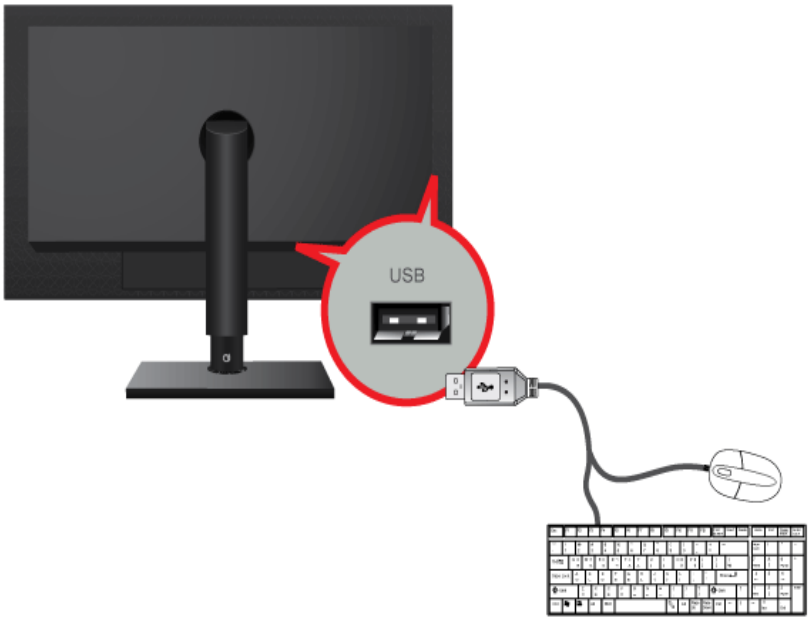
モニター背面の [AUDIO IN] ポートを PC のサウンド カードに接続します。

2-9 USB の接続

ポートは、USB 2.0 までの規格に対応しています。

マウス、キーボード、または外部機器（たとえばDSC (デジタル カメラ)、MP3、外部記憶装置など）などのUSB機器を接続します。

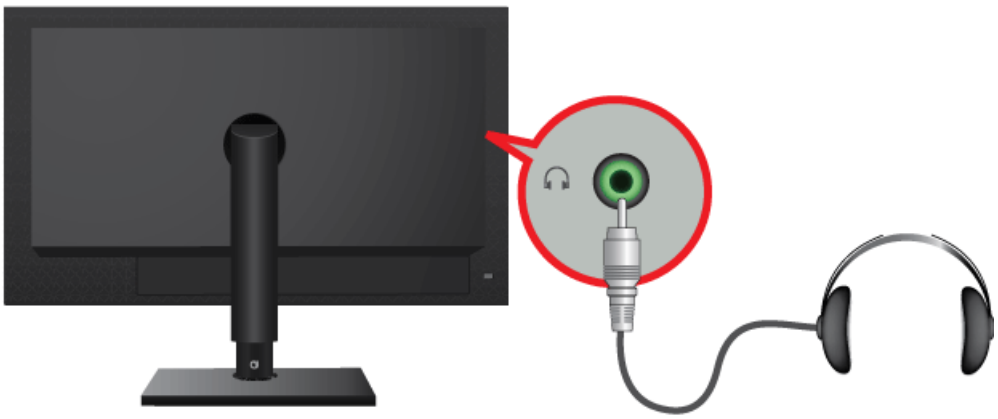
VMware View 4.6 以降が必要です。 データ転送速度は、ネットワーク環境によって異なる場合　があります。



マウス、キーボード、メモリスティック、外部ハードディスクドライブなどのUSB機器を、PCではなくモニターの USB ポートに接続して使用することができます。

2-10 ヘッドフォンの接続

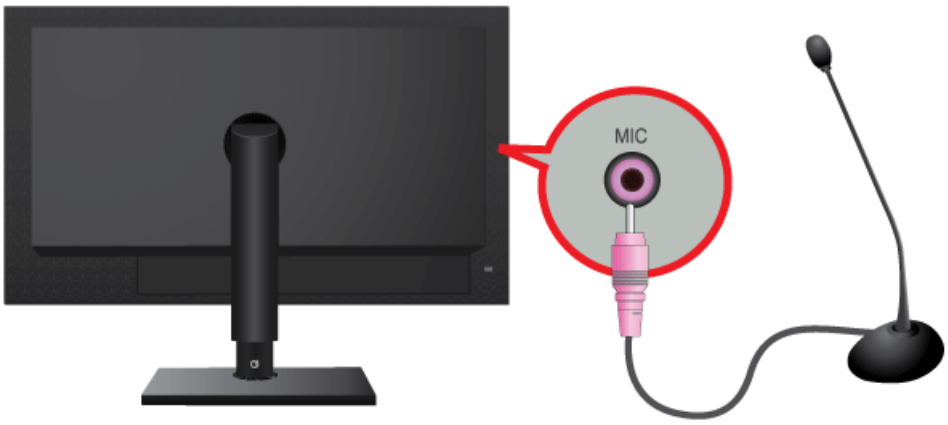
ヘッドフォン接続端子にヘッドフォンを接続します。



モニターには、ヘッドフォンを接続することができます。

2-11 マイクの接続

マイクのケーブルをモニターの MIC ポートに接続します。



モニターには、マイクを接続することができます。

2-12 Kensington ロック

Kensington ロックは、公共の場所で製品を安全に使用できるようにロックすることができる盗難防止用の装置です。固定装置の形状と使用方法はモデルおよびメーカーによって異なるため、詳細については固定装置に付属するユーザー マニュアルを参照してください。固定装置は別途購入する必要があります。

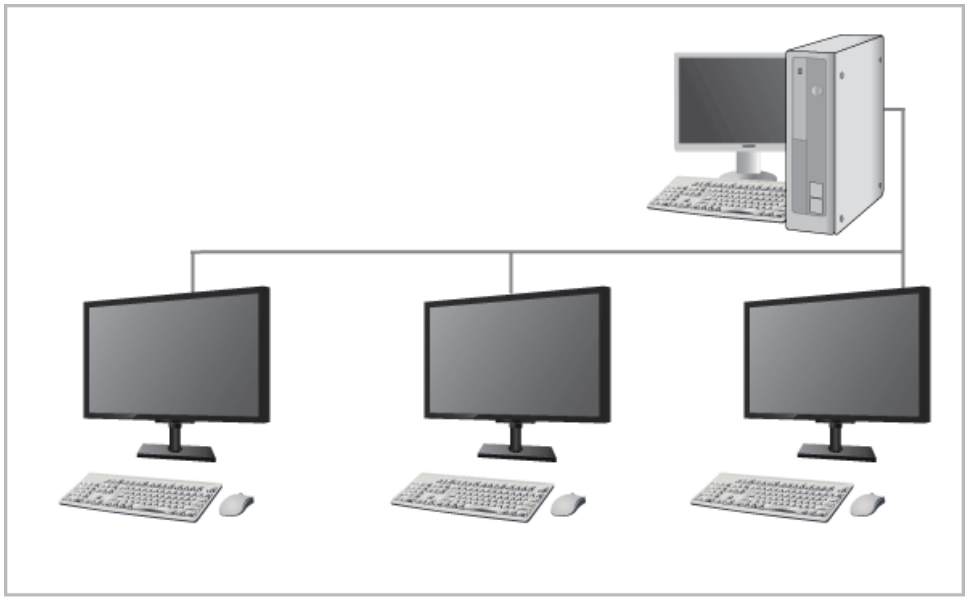
製品の固定

1. 固定装置のロック部分を製品の Kensington ロックの穴 (B) に挿入し、ロック方向 (A) に回します。
2. Kensington ロック ケーブルを接続します。
3. Kensington ロックのケーブルをデスクまたは重量のある物体に固定します。

固定デバイスは電気店またはオンライン ショップで購入できます。

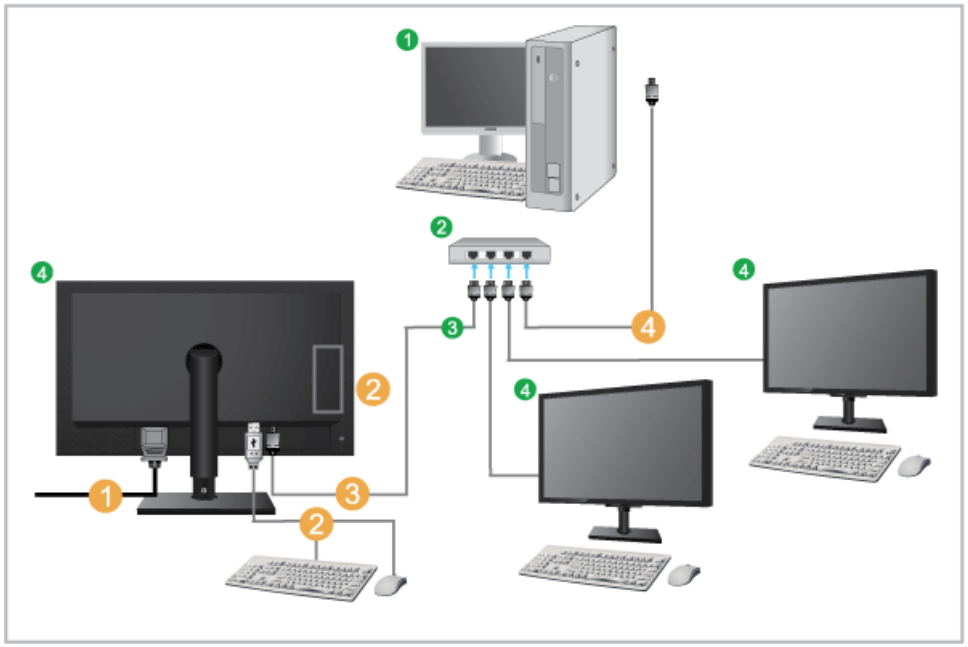
3 製品の使用

3-1 PC over IP とは?



- このモニターは、エンコードされてネットワーク (LAN) 経由で送信されるサーバー PC の画面を表示するだけでなく、従来のモニターと同様にコンピュータの画面を表示します。このモニターは、通常の RDP よりもはるかに向上した性能を持っており、高画質のグラフィック作業に適した 1920*1080 ピクセルの解像度をサポートするように設計されています。
- このモニターでは、サーバー PC に接続し、インターネットにアクセスしてドキュメントの作成および画像の編集を行えるようにすることにより、セキュリティを強化することができます。これに加えて、新しいコンセプトのこのモニターでは DSC、MP3、外部ストレージ デバイスなどの外部入力信号デバイスを USB ポートに接続することで、音楽やビデオの再生およびゲームを楽しむことができます。
- このモニターは、DVI OUT ポートを使ってデバイスを接続してネットワーク ディスプレイ画面を別の表示デバイスに表示することにより、ビデオ会議や共同作業などのさまざまな分野に活用することができます。

3-2 LANケーブルを使用してホストPCに接続する



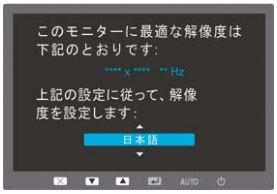
❶ ホストPC　❷ ハブ　❸ LAN ケーブル　❹ モニター

1. 電源コードをモニター背面の電源端子に接続します。
2. いずれかのUSBポートにマウスとキーボードを接続します。
3. モニター背面のLANポートとハブを接続します。
4. ハブとホストPCのLANポートを接続します。

ホストPCにはIPアドレスが割り当てられている必要があります。
LANの接続とIPアドレスの設定が完了したら、ホストPCの画面をモニター上に表示することができるようになります。
USBポートを使用して、外部機器（DSC、MP3、外部記憶装置など）を接続します。
多数のクライアント デバイスを 1 台のホスト PC に接続できるのは、vmware のような仮想化ソリューションがホスト PC にインストールされている場合のみに限られます。

3-3 プラグ & プレイ

製品を購入後に電源をオンにすると、最適な解像度設定についてのメッセージが画面に表示されます。
言語と最適な解像度を選択します。



▲/▼ : 言語はこのボタンで選択できます。

MENU : このボタンを押すと、メッセージが消えます。

最適な解像度に設定するには。

- デスクトップを右クリックして、ポップアップ メニューから [プロパティ] を選択します。
- [設定] タブで最適な解像度を設定します。

- 最適な解像度に設定されていない場合にはこのメッセージが最大 3 回表示されます。

3-4 標準信号モード表

LCD モニターには、CDT モニターと異なり、パネル固有の特性によって画面サイズに応じて画質が最も良くなる最適な解像度があります。

したがって、パネル サイズに応じた最適な解像度が設定されていない場合には、画質が低下します。製品を最適な解像度に設定することをお勧めします。

PC からの信号が以下のいずれかの標準信号モードになっている場合には、画面は自動的に設定されます。ただし、PC からの信号が以下の信号モードのいずれでもない場合には、画面に何も表示されないか、電源 LED のみが点灯することがあります。この場合には、グラフィック カードのユーザー マニュアルに従って以下のように設定してください。

NC190

表示モード	水平周波数 (KHZ)	垂直周波数 (HZ)	ピクセル クロック (MHZ)	同期極性 (H/V)
IBM、640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/-
IBM、720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
MAC、640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
MAC、832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
MAC、1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA、640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
VESA、640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA、800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA、800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA、800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA、800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA、1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA、1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA、1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA、1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 800	49.702	59.810	83.500	-/+
VESA、1280 x 800	62.795	74.934	106.500	-/+
VESA、1280 x 960	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+

NC240

表示モード	水平周波数 (KHZ)	垂直周波数 (HZ)	ピクセル クロック (MHZ)	同期極性 (H/V)
IBM、640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/-
IBM、720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
MAC、640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
MAC、832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
MAC、1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA、640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
VESA、640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA、640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA、800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA、800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA、800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA、800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA、1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA、1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA、1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA、1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 800	49.702	59.810	83.500	-/+
VESA、1280 x 800	62.795	74.934	106.500	-/+
VESA、1280 x 960	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA、1440 x 900	55.935	59.887	106.500	-/+
VESA、1440 x 900	70.635	74.984	136.750	-/+
VESA、1600 x 1200	75.000	60.000	162.000	+/+
VESA、1680 x 1050	65.290	59.954	146.250	-/+
VESA、1920 x 1080	67.500	60.000	148.500	+/+

水平周波数

画面上の左端から右端までの 1 本の線を走査するのにかかる時間を水平サイクルと呼び、水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。水平周波数は kHz 単位で表示します。

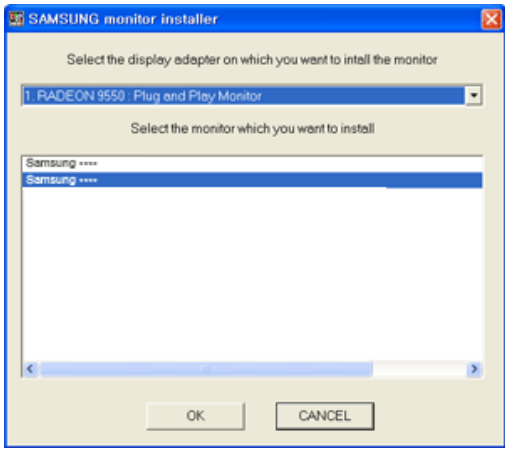
垂直周波数

人が映像を認識するためには、パネルは毎秒数十回同じ映像を画面上に表示する必要があります。この周波数を垂直周波数を呼びます。水平周波数は Hz 単位で表示します。

3-5 デバイス ドライバのインストール

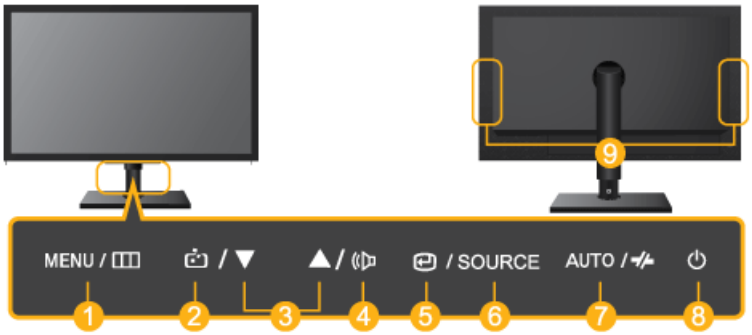
デバイス ドライバをインストールすると、製品に適した解像度と周波数を設定することができます。デバイス ドライバは、製品に付属する CD-ROM に含まれています。付属のドライバ ファイルが破損している場合には、Samsung Electronics の Web サイト (http://www.samsung.com/) からドライバをダウンロードしてください。

1. ドライバのインストール CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. [Windows Driver] をクリックします。
3. モデルの一覧からご使用のモデルを選択します。



4. 画面に表示される指示に従って以降のインストール手順を完了させます。
5. 適切な解像度と画面のリフレッシュ レートが [コントロール パネル] の設定に表示されているか確認します。詳細については、Windows オペレーティング システムについてのマニュアルを参照してください。

製品の操作ボタン



ボタンは製品の底部にあります。

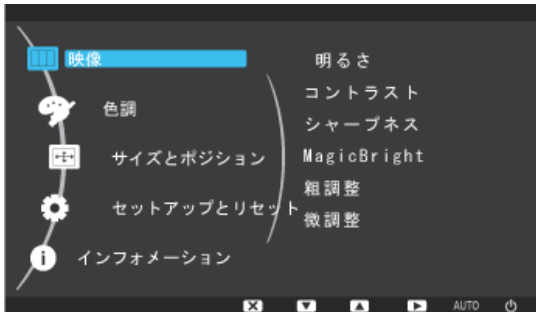
	アイコン	説明
1	**MENU/ ▥**	このボタンを押して、OSD (On Screen Display) を表示します。 このボタンは、OSD を終了したり、上位の OSD メニューに戻るときにも使用します。 * キー ロック この機能では、製品前面のボタンをロックして、現在の設定が他のユーザーによって変更されることを防ぎます。 ロック: MENU ボタンを 5 秒間押したままにします。キー ロック モードが有効になります。 ロック解除: キー ロックが有効のときに、MENU ボタンを 5 秒間押したままにします。キー ロック モードが無効になります。 キー ロック モードが有効になっているときは、製品前面のすべてのボタンが無効になります。
2		ホスト PC にクライアント モードで接続するには、ボタンを少なくとも 2 秒間押します。ホスト PC をオフにするには、ホスト PC に接続された状態で、ボタンを 2 秒以上押します。
3	**▲/▼**	OSDメニュー画面でメニューを移動したり、値を調整するときに使用します。
4		OSD がスクリーンに表示されていない場合は、このボタンを押して音量を調整します。
5 6	**/SOURCE**	このボタンを使用して機能を選択します。 OSDがオフの時には、[/SOURCE] を押して接続したデバイスからのビデオ信号を選択します。([/SOURCE] ボタンを押して入力モードを変更すると、画面の左上に現在のモードを示すメッセージが表示されます)
7	**AUTO /**	<アナログ> モードでは、このボタンを自動調整に使用します。<Client> モードでは、このボタンはサーバーからの切断に使用されます。
8		このボタンで、製品のオン/オフを切り替えます。
9	**スピーカー**	50 インチ モデルのみ該当します。

3-7　画面調整メニュー (OSD:On Screen Display) の使用

画面調整メニュー (OSD:On Screen Display)

トップ メニュー	下位メニュー				
映像	明るさ	コントラスト	シャープネス	MagicBright	粗調整
	微調整				
色調	MagicColor	赤	緑	青	色温度
	カラー効果	ガンマ			
サイズとポジション	Hーポジション	Vーポジション	画像サイズ	メニューのHーポジション	メニューのVーポジション
セットアップとリセット	リセット	メニューの透明度	言語	表示時間	
インフォメーション	-				

映像



メニュー	説明
明るさ	画面の明るさを制御します。 このメニューは、<MagicBright> が <ダイナミックコントラスト> モードに設定されているときは使用できません。
コントラスト	画面上に表示される画像のコントラストを調整します。 このメニューは、<MagicBright> が <ダイナミックコントラスト> モードに設定されているときは使用できません。 このメニューは、<MagicColor> が <フル> モードまたは <インテリジェント> モードに設定されているときは使用できません。
シャープネス	画面上に表示される画像の細かい部分の明確さを調整します。 このメニューは、<MagicBright> が <ダイナミックコントラスト> モードに設定されているときは使用できません。 このメニューは、<MagicColor> が <フル> モードまたは <インテリジェント> モードに設定されているときは使用できません。

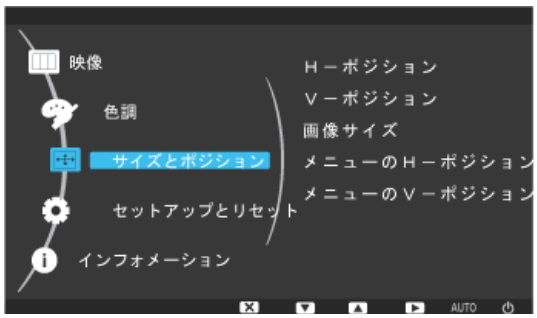
メニュー	説明
MagicBright	プリセットされている画像設定は、文書の編集、インターネット サーフィン、ゲーム、スポーツ観戦や映画鑑賞などのさまざまなユーザー環境に最適な設定となっています。 • <ユーザー 調整> プリセットされた画像モードで問題がある場合には、このモードを使用して <明るさ> と <コントラスト> を直接調整できます。 • <テキスト> このモードでは、文書の編集に適した画像設定となります。 • <インターネット> このモードでは、インターネット サーフィン (テキスト + 画像) に適した画像設定となります。 • <ゲーム> このモードでは、大量のグラフィクスがあって画面を高速で更新する必要のあるゲームに適した画像設定となります。 • <スポーツ> このモードは、動きの多いスポーツ観戦に適した画像設定となります。 • <映画> このモードでは、TV と同様にエンターテイメント (映画、DVD など) に最適な明るさとシャープネスとなります。 • <ダイナミックコントラスト> 画像の明暗のバランスが全体的にとれるように、画像のコントラストを自動的に制御します。
粗調整	画面上のノイズ (垂直線) を取り除きます。 調整を行うと、画面の位置が変わることがあります。この場合には、<Hーポジション> メニューを使用して画面が表示パネルの中央に表示されるように調整します。 この機能は アナログ モードでのみ使用できます。
微調整	画面上のノイズ (水平線) を取り除きます。 <微調整> 機能でノイズを完全に取り除けない場合には、<粗調整> を調整してから再度 <微調整> 機能を使用します。 この機能は アナログ モードでのみ使用できます。

色調

メニュー	説明
MagicColor	Samsung Electronics が開発した専用のデジタル映像画質向上テクノロジーを使用して、画像の品質を変えずに自然な色をより明確に表現します。 • <オフ> - MagicColor 機能をオフにします。 • <デモ> - MagicColor で処理された画像と元の画像を比較することができます。 • <フル> - 肌の色などがよりはっきりした画像を表示します。 • <インテリジェント> - 肌の色に対応する部分以外の画像の彩度を向上させます。
赤	お好みに応じて赤色の値を調整できます。 このメニューは、<MagicColor> が <フル> モードまたは <インテリジェント> モードに設定されているときは使用できません。
緑	お好みに応じて緑色の値を調整できます。 このメニューは、<MagicColor> が <フル> モードまたは <インテリジェント> モードに設定されているときは使用できません。
青	お好みに応じて青色の値を調整できます。 このメニューは、<MagicColor> が <フル> モードまたは <インテリジェント> モードに設定されているときは使用できません。
色温度	お好みに応じて色温度を設定することができます。 • <青色系> - 画面の色温度を寒色に設定します。 • <標準> - 画面の色温度を標準に設定します。 • <赤色系> - 画面の色温度を暖色に設定します。 • <ユーザー 調整> - 色温度を手動で設定するにはこのメニューを選択します。プリセットされた色温度が好みでない場合には、<カラー効果> の色を手動で調整することができます。 このメニューは、<MagicColor> が <フル> モードまたは <インテリジェント> モードに設定されているときは使用できません。
カラー効果	画像の色を変更して、全体的な雰囲気を変えることができます。 このメニューは、<MagicColor> が <フル> モードまたは <インテリジェント> モードに設定されているときは使用できません。 • <オフ> - カラー効果 機能をオフにします。 • <グレースケール> -画像を白黒で表示します。 • <グリーン> - 画像を緑の単色で表示します。 • <アクア> - 画像を青緑の単色で表示します。 • <セピア> - 画像をセピアの単色で表示します。
ガンマ	このメニューを使用して、中程度の明るさの色強度を変更することができます。 • <モード1> - <モード2> - <モード3>

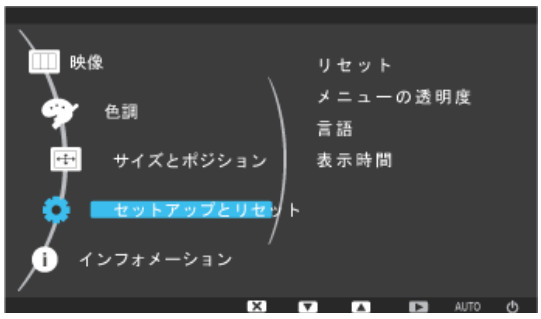
<色調> 機能は <MagicBright> が <ダイナミックコントラスト> モードに設定されているときには使用できません。

サイズとポジション



メニュー	説明
Hーポジション	画面上の表示領域を水平方向に動かします。 この機能は アナログ モードでのみ使用できます。
Vーポジション	画面上の表示領域を垂直方向に動かします。 この機能は アナログ モードでのみ使用できます。
画像サイズ	• <自動> - 画像は入力信号の縦横比で表示されます。 • <ワイド> - 画像は入力信号の縦横比と無関係に全画面表示されます。 • 標準モード表にない信号はサポートされていません。 • 最適な解像度に設定されている場合には、<画像サイズ> が <自動> または <ワイド> に設定されていても縦横比は変わりません。 NC240 モデルのみ。
メニューのHーポジション	OSD の水平位置を調整できます。
メニューのVーポジション	OSD の垂直位置を調整できます。

セットアップとリセット



メニュー	説明
リセット	この機能を使用して、表示される画質と色の設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。 • <いいえ> - <はい>
メニューの透明度	OSD の透明度を調整できます。 • <オフ> - <オン>

メニュー	説明
言語	OSD の言語を選択します。 • 日本語 , English 選択された言語は、製品の OSD にのみ適用されます。この設定は、PC の他の機能には影響を与えません。
表示時間	OSD は、ユーザーが一定時間操作をしないと自動的に消えます。 OSD が消えるまでの時間を決めることができます。 • <5 秒> - <10 秒> - <20 秒> - <200 秒>

インフォメーション

アナログ

メニュー	説明
インフォメーション	PC の周波数および解像度の設定を表示します。

4 ソフトウェアのインストール

4-1 PCoIP

OSD (On Screen Display)

OSD (On Screen Display) のローカル GUI は、デバイスに電源が投入され PCoIP セッションが行われていないときに表示されます。

OSD は、接続画面からホスト デバイスに接続する機能を提供します。スタートアップ時にユーザーに対して接続画面が表示されます。

接続画面では、オプション ウィンドウにもアクセスすることができます。

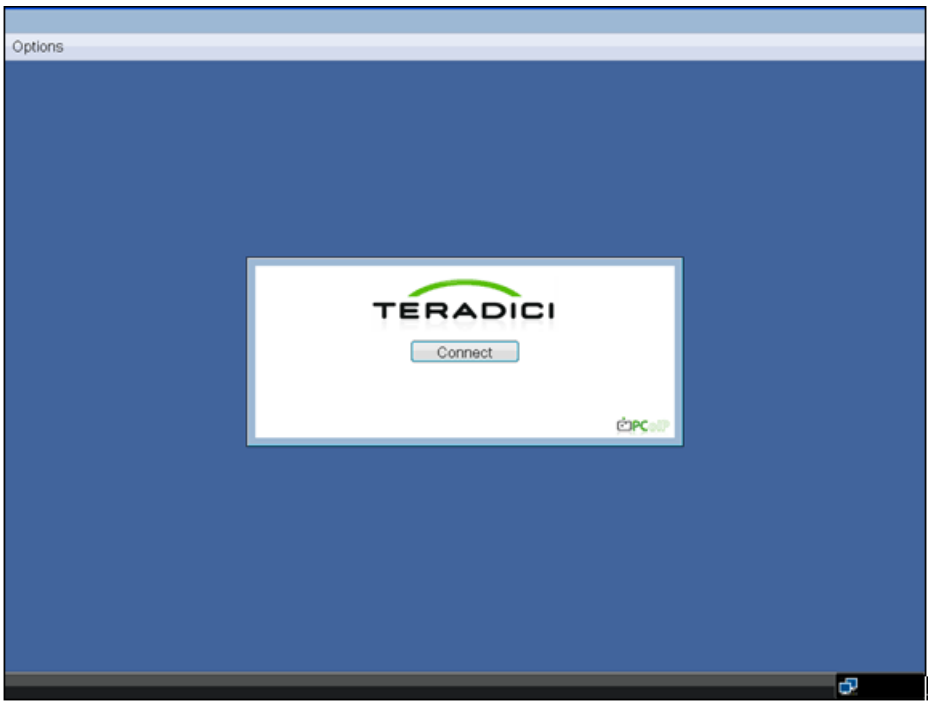
オプション ウィンドウは、接続画面のオプション ボタンからアクセスすることができます。ポータルのオプションを変更するには、管理パスワードが必要です。

接続画面

接続画面は、スタートアップまたは自動再接続を管理するためのポータルが設定されている場合を除いて、スタートアップ時に表示されます。

<Connect> ボタンの上に表示されるロゴは、管理 Web インターフェイスから代わりの画像をアップロードすると変更できます。

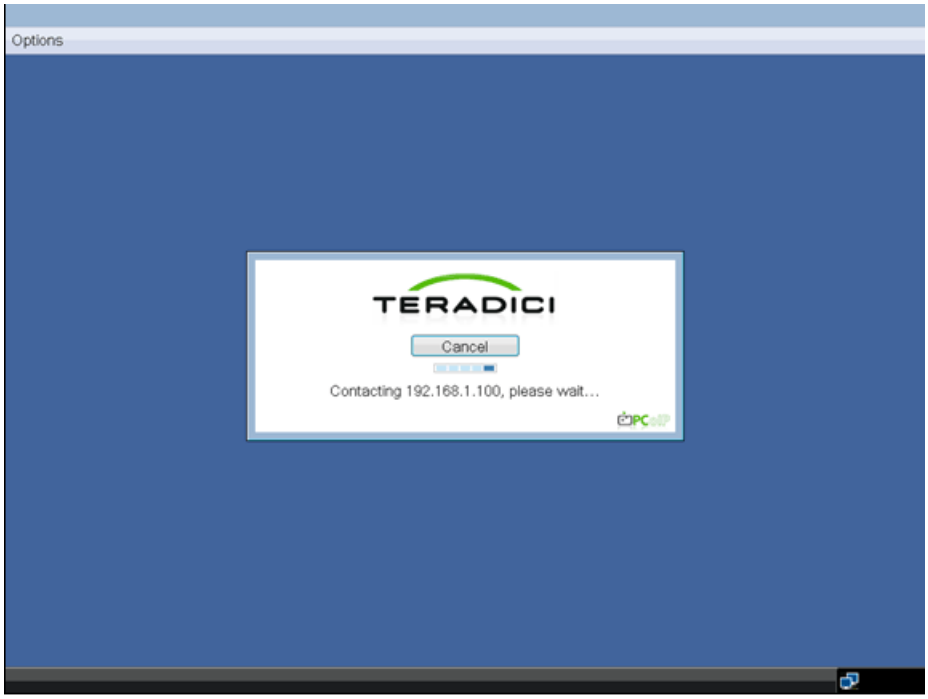
図 2-1:OSD 接続画面



Connect ボタン

接続ボタンを選択すると、セッション設定に応じて PCoIP または RDP セッションが開始されます。PCoIP 接続が保留されているときは、OSD のローカル GUI が「Connection Pending」のメッセージを表示します。接続が確立されると、OSD のローカル GUI が消えてセッション イメージに切り替わります。

図 2-2:OSD 接続画面 (接続中)



OSD <Options> メニュー

<Options> メニューを選択すると、選択リストが示されます。OSD の <Options> メニューには、以下の項目があります。

- <Configuration>
- <Diagnostics>
- <Information>
- <User Settings>
- <Password>

いずれかの選択肢を選択すると、設定ウィンドウが表示されます。

図 2-3:OSD <Options> メニュー

<Configuration> ウィンドウ

<Configuration> ウィンドウでは、ポータルの動作と環境との相互作用の方法を定義するための設定を行うウィンドウ タブに管理者がアクセスできます。

<Configuration> ウィンドウには、以下のタブがあります。

- <Network>
- <Label>
- <Connection Management>
- <Discovery>
- <Session>
- <RDP>
- <Language>
- <OSD>
- <Reset>
- <VMware View>

各タブには、管理者がそのタブ上で行った設定の変更を適用またはキャンセルするための <OK>、<Cancel>、<Apply> ボタンがあります。

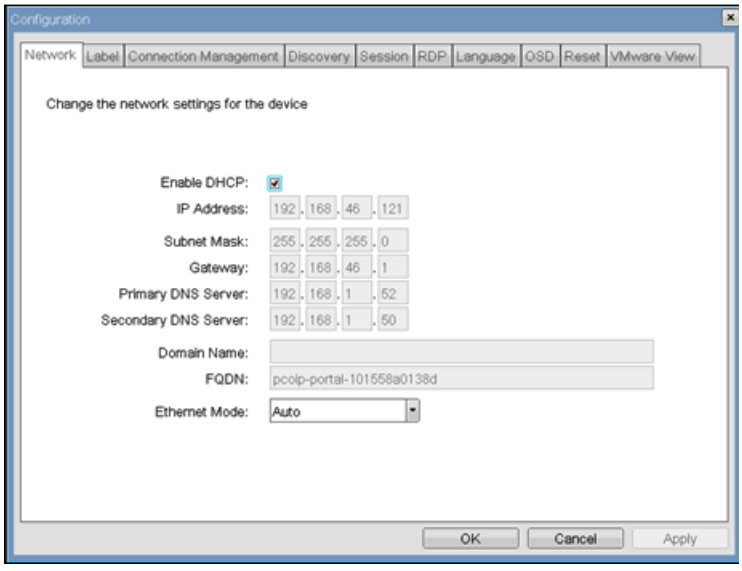
一部の PCoIP デバイスではパスワードによる保護が無効になっており、管理 Web ページにログインしたり OSD パラメータにアクセスしたりするのにパスワードが不要な場合があります。ログイン ページおよび OSD のパスワード保護は、PCoIP 管理コンソールから有効にすることができます。

<Network> タブ

<Network> タブで、管理者はポータル ネットワークのパラメータを設定することができます。

ネットワーク パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-4:<Network> 設定



- <Enable DHCP>
  <Enable DHCP> が有効になっているときには、デバイスは DHCP サーバーに問い合わせて、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ IP アドレスおよび DNS サーバーの割り当てを受けます。無効になっているときには、デバイスでこれらのパラメータを主導で設定する必要があります。
- <IP Address>
  [IP アドレス] フィールドは、デバイスの <IP address> です。DHCP が無効になっている場合には、このフィールドは必須項目です。DHCP が有効になっている場合には、このフィールドは編集不可になっています。このフィールドは有効

な IP アドレスでなければならず、無効な IP アドレスが入力された場合には OSD が管理者に対して修正を求めるプロンプトを表示します。

- <Subnet Mask>
  <Subnet Mask> フィールドは、デバイスのサブネット マスクです。DHCP が無効になっている場合には、このフィールドは必須項目です。
  DHCP が有効になっている場合には、このフィールドは編集不可になっています。このフィールドは有効なサブネット マスクでなければならず、無効なサブネット マスクが入力された場合には OSD が管理者に対して修正を求めるプロンプトを表示します。
- <Gateway>
  [ゲートウェイ] フィールドは、デバイスの <Gateway> です。DHCP が無効になっている場合には、このフィールドは必須項目です。DHCP が有効になっている場合には、このフィールドは編集不可になっています。
- <Primary DNS Server>
  <Primary DNS Server > フィールドは、デバイスのプライマリ DNS IP アドレスです。このフィールドはオプションです。DHCP が有効になっている場合には、このフィールドは編集不可になっています。
- <Secondary DNS Server>
  <Secondary DNS Server> フィールドは、デバイスのセカンダリ DNS IP アドレスです。このフィールドはオプションです。DHCP が有効になっている場合には、このフィールドは編集不可になっています。
- <Domain Name>
  <Domain Name> は、「domain.local」などのような使用されているドメイン名です。このフィールドはオプションです。このフィールドは、ホストまたはポータルがオンになっているドメインを指定します。
- <FQDN>
  <FQDN> は、ホストまたはポータルの FQDN (Fully Qualified Domain Name) です。デフォルトは pcoip-host-MAC または pcoip-portal-MAC となり、MAC の部分はホストまたはポータルの MAC アドレスになります。使用する場合は、pcoip-host-MAC.domain.local のようにドメイン名が付け加えられます。
- <Ethernet Mode>
  <Ethernet Mode> フィールドでは、ポータルの Ethernet モードの設定を行います。オプションは以下の通りです。
  - <Auto>
  - <10 Mbps Full-Duplex>
  - <100 Mbps Full-Duplex>

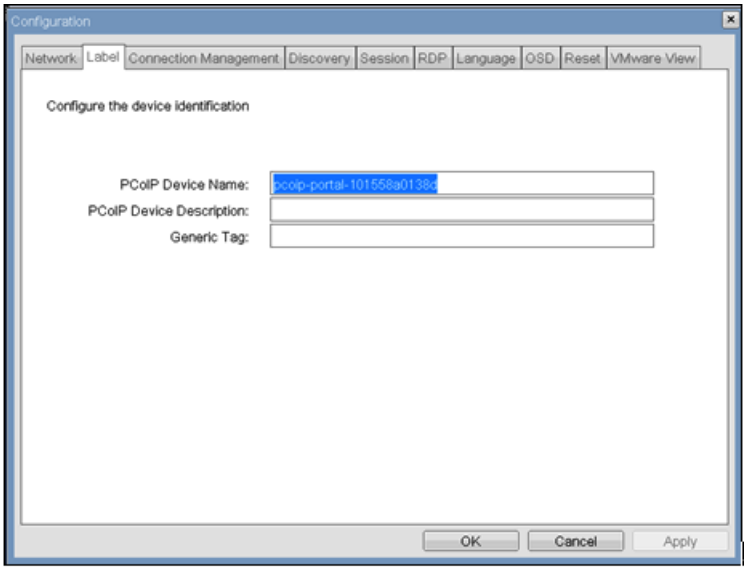
> 管理者は、たとえばスイッチなどのネットワーク機器が <10 Mbps Full-Duplex> または <100 Mbps Full-Duplex> で動作するように設定されているときには、常に <Ethernet Mode> を <Auto> に設定して <10 Mbps Full-Duplex> または <100 Mbps Full-Duplex> のみを使用するようにする必要があります。

<Label> タブ

<Label> タブでは、管理者がホストまたはポータルのカスタム情報を追加することができます。

> ポータル ラベル パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-5:<Label> 設定



- <PCoIP Device Name>
  <PCoIP Device Name> で管理者がホストまたはポータルに論理名を指定できるようになっている場合。デフォルトは pcoip-host-MAC または pcoip-portal-MAC となり、MAC の部分はホストまたはポータルの MAC アドレスになります。
- <PCoIP Device Description>
  <PCoIP Device Description> では、管理者がエンドポイントの場所などの説明や詳細情報をホストまたはポータルに付けることができます。
- <Generic Tag>
  <Generic Tag> では、管理者がホストまたはポータルにジェネリック タグ情報を与えることができます。

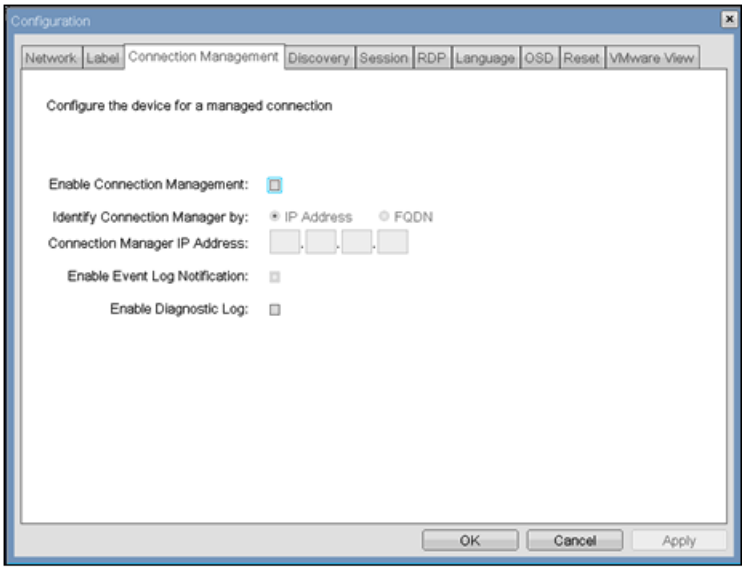
<Connection Management> タブ

<Connection Management> タブでは、接続管理の有効または無効を切り替えることができ、接続マネージャの IP アドレスを指定します。

管理対象の接続では、外部の <Connection Managerment> サーバーが通信を行い、リモートからデバイスの制御および設定を行うことができます。さらに、接続マネージャはデバイスの接続先となる適切なピアを特定し、接続を開始することができます。<Connection management> により、大規模で複雑なシステムの管理が大幅に簡単になります。

接続管理パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-6:<Connection Management> 設定



- <Enable Connection Management>
  <Enable Connection Management> オプションが有効になっている場合には、外部の接続マネージャによりデバイスの設定および制御を行うことができます。
- <Identify Connection Manager By>
  <Identify Connection Manager By> セレクタにより、管理者は接続マネージャを <IP address> で接続するか、FQDN (Fully Qualified Domain Name) で識別するかを選択することができます。接続管理が無効になっている場合には、このフィールドは必須ではなく編集不可になります。
  表 2-1 は、それぞれの方法を選択したときに使用できる設定パラメータを示しています。無効な IP アドレスまたは DNS 名が入力されると、OSD が管理者に対して修正を促すプロンプトを表示します。

表 2-1:接続マネージャの方法

方法	データ フィールド
<IP address>	接続マネージャの IP アドレス
<FQDN>	接続マネージャの DNS 名

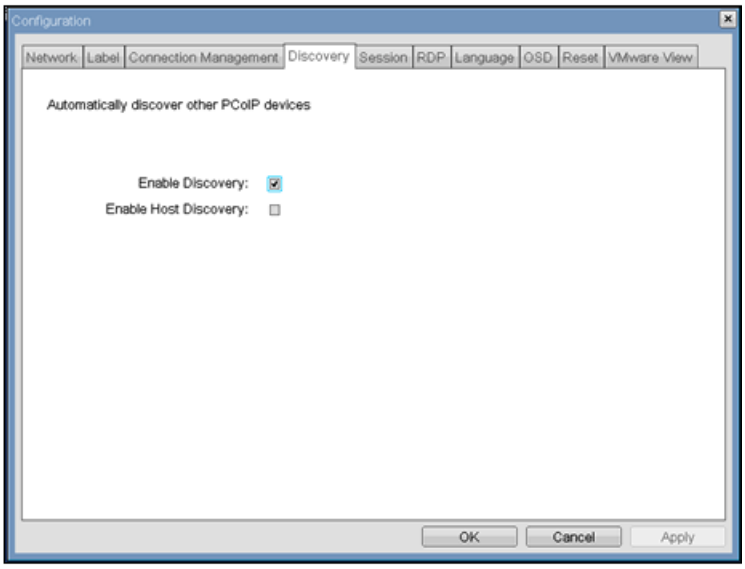
- <Enable Event Log Notification>
  <Enable Event Log Notification> フィールドは、PCoIP ホストおよびポータル デバイスがイベント ログの内容を接続管理サーバーに送信するかどうかを制御します。
- <Enable Diagnostic Log>
  <Enable Diagnostic Log> フィールドは、接続管理固有のデバッグ メッセージを PCoIP ホストおよびポータル デバイスのイベント ログに書き込むかどうかを制御します。

<Discovery> タブ

<Discovery> 設定タブでは、PCoIP システム内のポータルを発見しやすくする機能を利用することができます。

ディスカバリ パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-7:<Discovery> 設定



- <Enable Discovery>
  <Enable Discovery> オプションが有効になっている場合には、デバイスは SLP ディスカバリを使用してピア デバイスを動的に発見し、デバイスが事前にネットワーク内における自身の一を知っておく必要はありません。これによって、複雑なシステムにおける設定およびメンテナンスの労力を劇的に軽減することができます。

  SLP ディスカバリはマルチキャストを許可するように設定されているルーターを必要とし、したがって DNS-SRV ディスカバリが推奨されるディスカバリ メカニズムとなります。

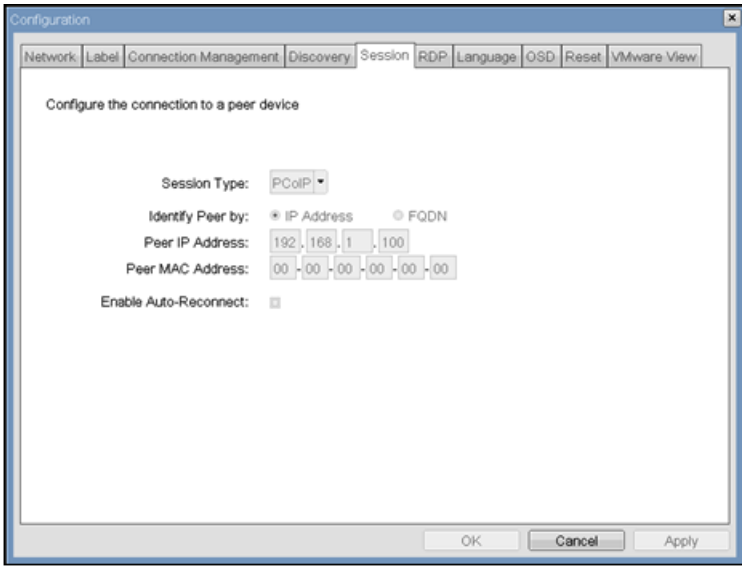
- <Enable Host Discovery>
  <Enable Host Discovery> 機能により、ポータルは PCoIP セッション内にないホストを発見することができます。
  有効になっているときには、ポータルは最大 10 台までの利用可能なホストを発見した順に表示することができます。
  <Enable Host Discovery> 機能は、ホストの数が少数のときに使用するためのものです。

<Session> タブ

<Session> タブでは、デバイスがピア デバイスに接続する方法を管理者が設定できます。

セッション パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-8 :<Session> 設定



- <Session Type>
  <Session Type> では、PCoIP セッションまたは RDP セッションのポータルを管理者が設定することができます。

- <Identify Peer By>
  <Identify Peer By> セレクタにより、管理者は接続マネージャを IP アドレスと MAC アドレスで識別するか、FQDN (Fully Qualified Domain Name) で識別するかを選択することができます。
  表 2-2 は、それぞれの方法を選択したときに使用できるピア識別パラメータを示しています。無効な IP アドレスまたは DNS 名が入力されると、OSD が管理者に対して修正を促すプロンプトを表示します。

表 2-2:ピア識別方法

ピア識別方法	データ フィールド	コメント
ピアの IP/MAC	ピアの IP Address	PCoIP またはポータル RDP クライアント
	ピアの MAC アドレス	PCoIP
ピアの FQDN	ピアの FQDN	PCoIP またはポータル RDP クライアント

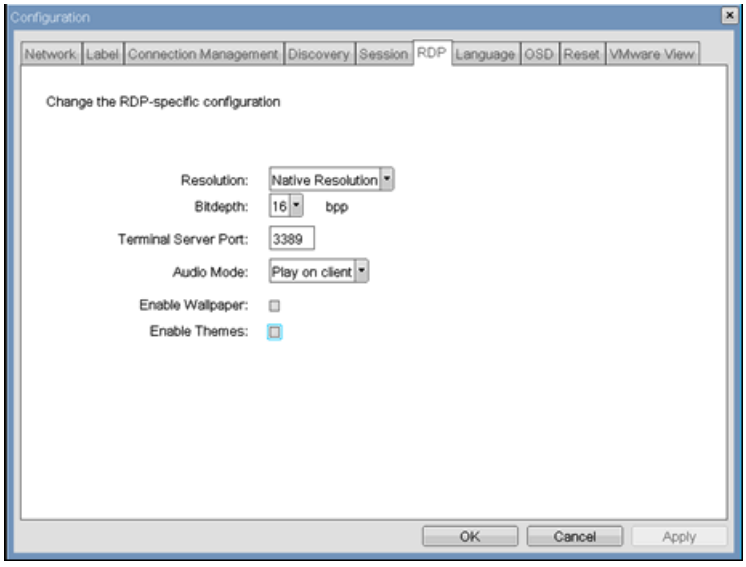
- <Enable Auto-Reconnect>
  <Enable Auto-Reconnect> オプションにより、セッションが失われたときにポータルは最後に接続していたホストに自動的に再接続することができます。

<RDP>

<RDP> タブでは、管理者が <RDP> (Remote Desktop Protocol) 固有の設定を行うことができます。

RDP パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-9 :<RDP> 設定



<Resolution>

<Resolution> フィールドは、<RDP> 画面の解像度設定です。以下の値を使用できます。

- <Native Resolution>
- <800x600>
- <1024x768>
- <1280x768>
- <1280x1024>
- <1440x900>
- <1600x1200>
- <1680x1050>
- <1920x1080>

- <1920x1200>

<Bit Depth>

<Bit Depth> は <RDP> セッションの色ビット深度です。以下の値を使用できます。

- <8 bpp> (ピクセル当たりのビット数)
- <16 bpp>
- <24 bpp>

<Terminal Server Port>

<Terminal Server Port> フィールドは、<RDP> クライアントが接続するポート番号を設定します。

<Audio Mode>

<Audio Mode> フィールドは、<RDP> セッションで音声再生が行われる場所を設定します。以下のオプションを使用できます。

- <None>
- <Play on client>
- <Play on host>

<Enable Wallpaper>

<Enable Wallpaper> フィールドでは、<RDP> セッションで壁紙を使用できるようにします。

<Enable Themes>

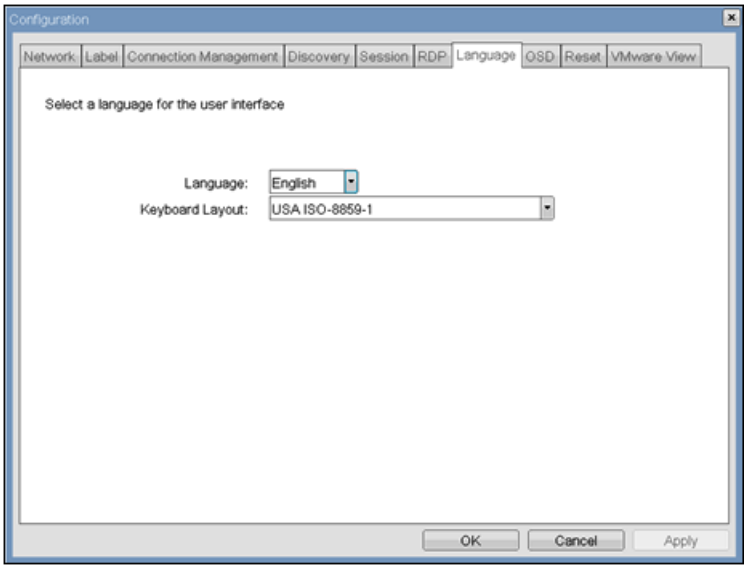
<Enable Themes> フィールドでは、<RDP> セッションでデスクトップ テーマを使用できるようにします。

<Language> タブ

<Language> フィールドでは、管理者が OSD の言語を設定することができます。

言語パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-10:<Language> 設定



<Language>

<Language> フィールドを使用して、画面上の表示およびイベント ログ メッセージの言語を設定することができます。

<Keyboard Layout>

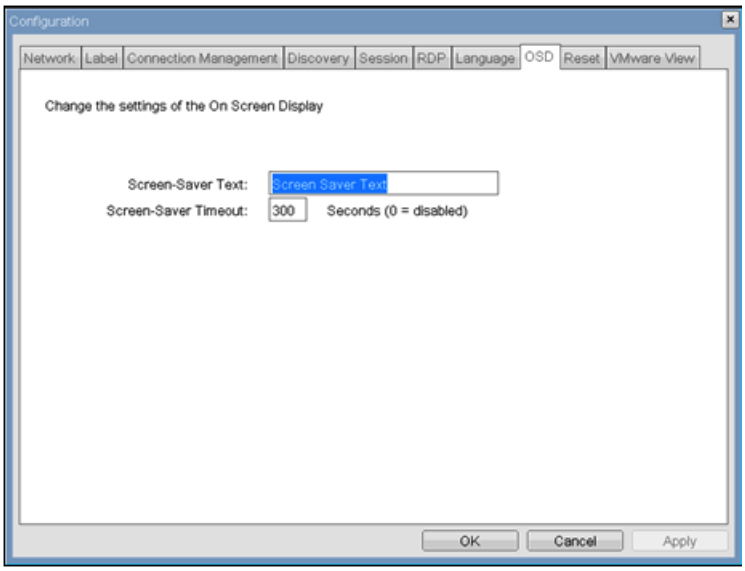
<Keyboard Layout> フィールドでは、管理者がキーボードのレイアウトを変更することができます。

<OSD> タブ

<OSD> タブでは、管理者が <OSD> (On Screen Display) パラメータを変更できます。

OSD パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-11:<OSD> 設定



<Screen-Saver Message>

<Screen-Saver Message> フィールドでは、管理者が OSD のスクリーンセイバーのテキストを変更できます。テキストは最大 240 文字となります。

スクリーンセイバーは、単純な黒の画面にスクリーンセイバー テキストをランダムに表示します。

<Screen-Saver Timeout>

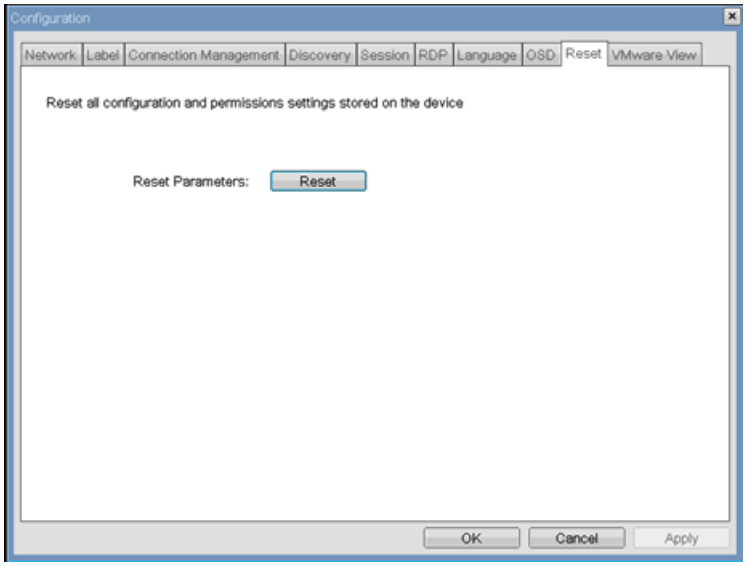
<Screen-Saver Timeout> フィールドでは、管理者が OSD のスクリーンセイバーのタイムアウトを設定することができます。タイムアウトは秒単位で設定し、最大 9999 秒となります。0 秒に設定すると、スクリーンセイバーを無効にします。

<Reset> タブ

<Reset> タブでは、管理者がフラッシュ内に格納されているすべての設定パラメータをリセットすることができます。

リセットも、Web ページ管理インターフェイスを使用して開始することができます。

図 2-12 :<Reset>



<Reset Parameters>

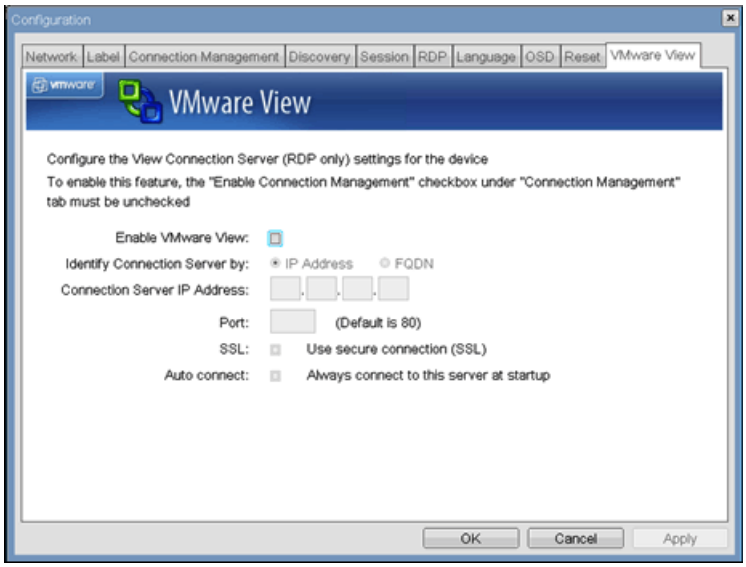
Reset Parameters リセット ボタンは、すべての設定とパーミッションを工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

<VMware View> タブ

<VMware View> タブでは、VMware View Connection Server を使用するための設定を行うことができます。

VMware View パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-13:<VMware View> 設定



<Enable VMware View>

<Enable VMware View> オプションを有効にすると、VMware View Connection Server を使用するようにポータルを設定することができます。

VMware View 機能を有効にするには、<Enable Connection Management> タブで <Connection Management> チェックボックスのチェックを外す必要があります。

<Identify Connection Server by>

<Identify Connection Server by> セレクタにより、管理者は接続マネージャを IP アドレスで接続するか、FQDN (Fully Qualified Domain Name) で識別するかを選択することができます。VMware View が無効になっている場合には、このフィールドは必須ではなく編集不可になります。

<Port>

<Port> パラメータにより、管理者が VMware View Connection Server との通信に使用するポートを指定することができます。

<SSL>

<SSL> パラメータにより、管理者が VMware View Connection Server との通信に使用する <SSL> ポートを指定することができます。

<Auto connect>

<Auto connect> パラメータでは、ポータルがスタートアップ時に VMware View Connection Server と必ず接続するよう管理者が指定することができます。

<Diagnostics> ウィンドウ

<Diagnostics> では、管理者がポータルに関連する診断を行うウィンドウ タブにアクセスすることができます。<Diagnostics> ウィンドウには、以下のタブがあります。

- <Event Log>
- <Session Statistics>
- <PCoIP Processor>
- <Ping >

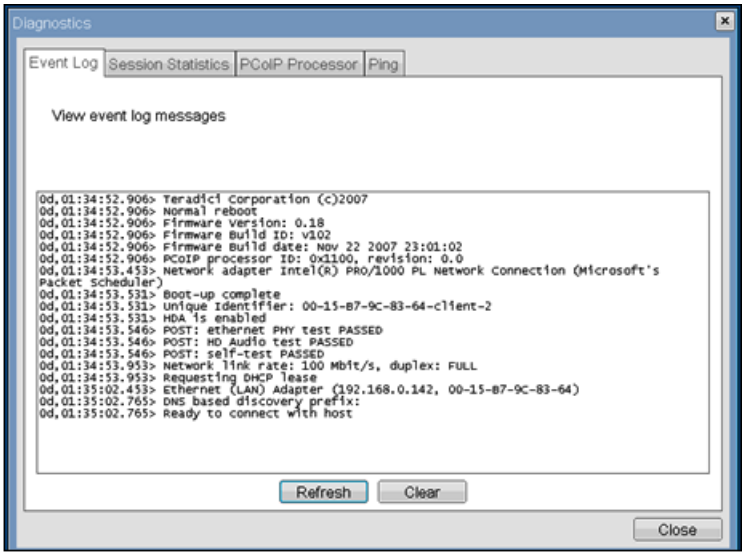
各タブには、ウィンドウを閉じるために [閉じる] ボタンがあります。

<Event Log> タブ

<Event Log> タブでは、管理者がポータルからのイベント ログ メッセージの表示およびクリアを行うことができます。

<Event Log> は、いずれも Web ページ管理インターフェイスを使用して開始することができます。

図 2-14:<Event Log>


Diagnostics
Event Log
Session Statistics
PCoIP Processor
Ping
View event log messages
0d,01:34:52.906> Teradici Corporation (c)2007
0d,01:34:52.906> Normal reboot
0d,01:34:52.906> Firmware version: 0.18
0d,01:34:52.906> Firmware Build ID: v102
0d,01:34:52.906> Firmware Build date: Nov 22 2007 23:01:02
0d,01:34:52.906> PCoIP processor ID: 0x1100, revision: 0.0
0d,01:34:53.453> Network adapter Intel(R) PRO/1000 PL Network Connection (Microsoft's Packet Scheduler)
0d,01:34:53.531> Boot-up complete
0d,01:34:53.531> Unique Identifier: 00-15-B7-9C-83-64-client-2
0d,01:34:53.531> HDA is enabled
0d,01:34:53.546> POST: ethernet PHY test PASSED
0d,01:34:53.546> POST: HD Audio test PASSED
0d,01:34:53.546> POST: self-test PASSED
0d,01:34:53.953> Network link rate: 100 Mbit/s, duplex: FULL
0d,01:34:53.953> Requesting DHCP lease
0d,01:35:02.453> Ethernet (LAN) Adapter (192.168.0.142, 00-15-B7-9C-83-64)
0d,01:35:02.765> DNS based discovery prefix:
0d,01:35:02.765> Ready to connect with host
Refresh
Clear
Close

<View event log message>

<View event log messages> フィールドには、ログ メッセージがタイム スタンプ情報とともに表示されます。関連して 2 つのボタンが使用できます。

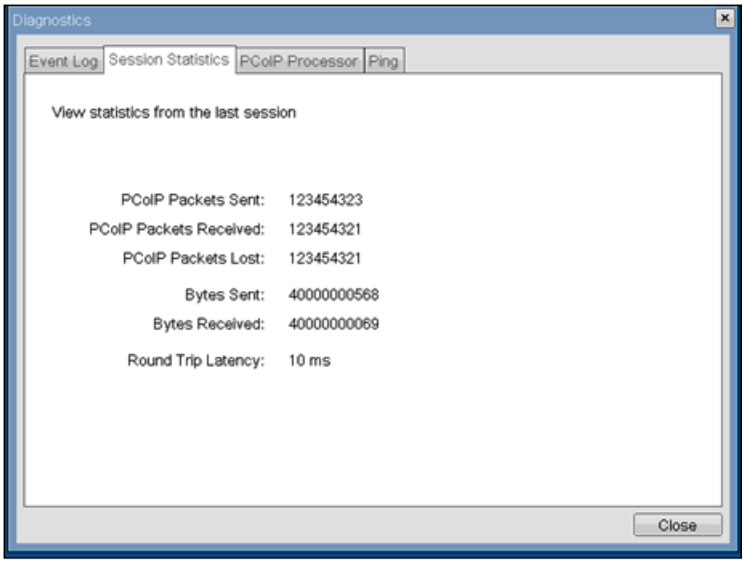
- <Refresh>
  <Refresh> ボタンを選択すると、表示されるイベント ログ メッセージが更新されます。
- <Clear>
  <Clear> ボタンを選択すると、表示されているイベント ログ メッセージをすべてクリアします。

<Session Statistics> タブ

<Session Statistics> タブでは、管理者がポータル上でアクティブとなっていた直近の PCoIP セッションについての PCoIP ごとの統計を表示することができます。

<Session Statistics> も、Web ページ管理インターフェイスを使用して表示することができます。

図 2-15:<Session Statistics>



<PCoIP Packets Statistics>

- <PCoIP Packets Sent>
  <PCoIP Packets Sent> フィールドは、直近のアクティブなセッションでポータルからホストに送信された PCoIP パケットの総数を示します。
- <PCoIP Packets Received>
  <PCoIP Packets Sent> フィールドは、直近のアクティブなセッションでポータルからホストに送信された PCoIP パケットの総数を示します。
- <PCoIP Packets Lost>
  <PCoIP Packets Lost> フィールドは、直近のアクティブなセッションで失われた PCoIP パケットの総数を示します。

<Bytes Statistics>

- <Bytes Sent>
  <Bytes Sent > フィールドは、直近のアクティブなセッションで送信された総バイト数を示します。
- <Bytes Received>
  <Bytes Received> フィールドは、直近のアクティブなセッションで受信された総バイト数を示します。

<Round Trip Latency>

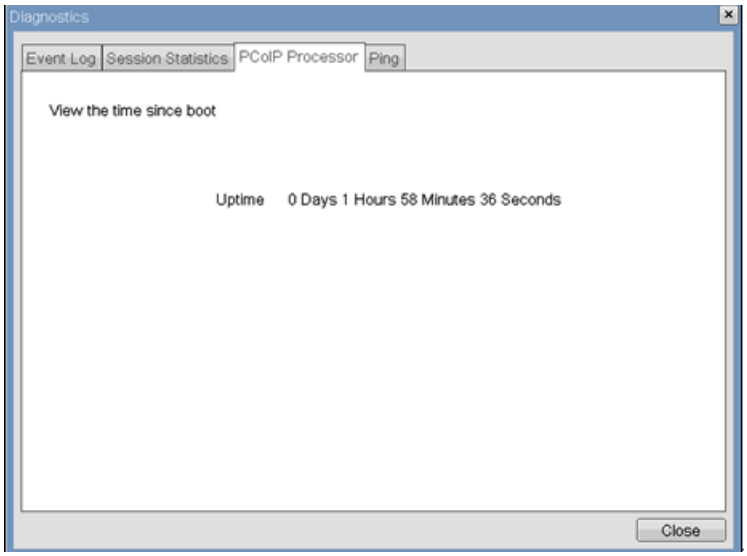
<Round Trip Latency> フィールドは、PCoIP システムの総ラウンドトリップ (たとえばポータルからホストへ行き、ホストに戻る)とネットワーク遅延 (+/- 1 ms) をミリ秒単位で示します。

<PCoIP Processor> タブ

<PCoIP Processor> タブでは、ポータルの PCoIP プロセッサが直近に起動されてからのアップタイムを管理者に対して示します。

<PCoIP Processor> アップタイムは、Web ページ管理インターフェイスでも表示できます。

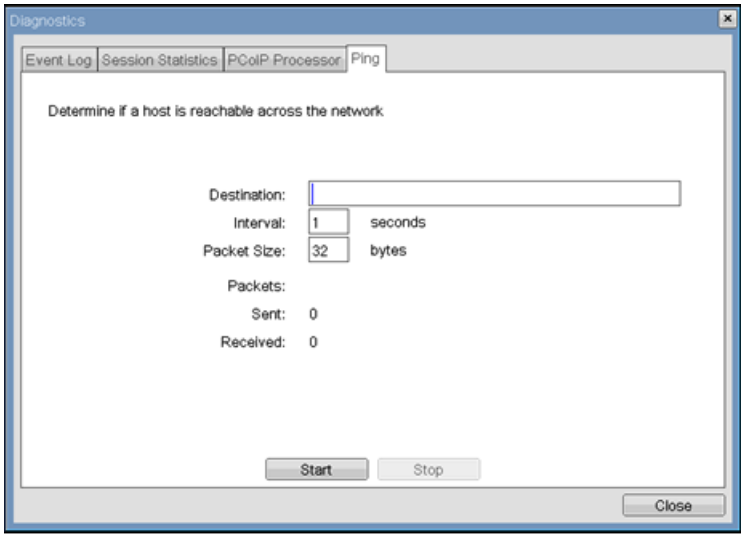
図 2-16:<PCoIP Processor>



<Ping> タブ

<Ping> タブでは、管理者がデバイスに ping を送信し、IP ネットワークを介して到達できるかを確認することができます。これは、ホストに到達できるかどうかを判断するのに便利です。

図 2-17:<Ping >



Ping 設定

- <Destination>
  ping 先の IP アドレスまたは FQDN
- <Interval>

ping パケットの間隔

- <Packet Size>
  ping パケットのサイズ

パケット

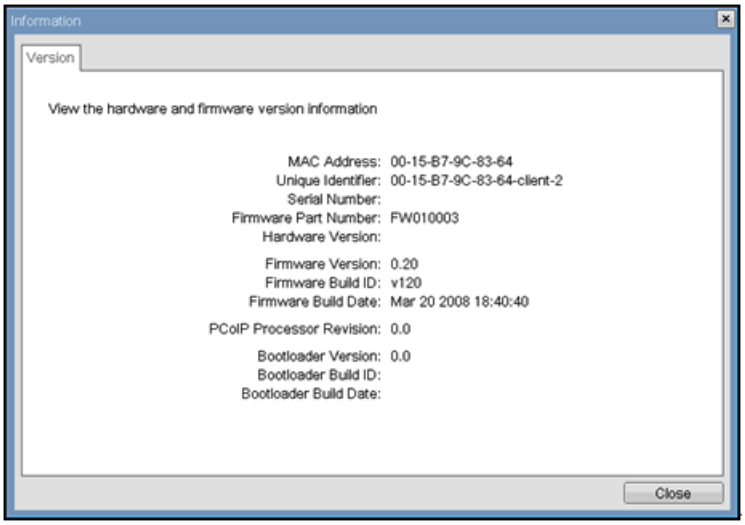
- <Sent>
  送信された ping パケット数
- <Received>
  受信した ping パケット数

<Information> ウィンドウ

<Information> ウィンドウでは、デバイスの情報を格納している Version タブに管理者がアクセスできます。

バージョン情報も、Web ページ管理インターフェイスを使用して表示することができます。

図 2-18:<Version>



VPD 情報

VPD (Vital Product Data) は、各ポータルまたはホストに工場で一意に割り当てられた情報です。

- <MAC Address>
  ポータルの一意な <MAC address>
- <Unique Identifier>
  ポータルの一意な識別子
- <Serial Number>
  ポータルの一意なシリアル番号
- <Firmware Part Number>
  PCoIP ファームウェアの部品番号
- <Hardware Version>
  ポータルのハードウェア バージョン番号

ファームウェア情報

<Firmware Information> は、現在の PCoIP ファームウェアの詳細情報を反映します。

- <Firmware Version>
  現在の PCoIP ファームウェアのバージョン
- <Firmware Build ID>

現在の PCoIP ファームウェアのリビジョン コード

- <Firmware Build Date>
  現在の PCoIP ファームウェアのビルド日付

<PCoIP Processor Revision>

<PCoIP Processor Revision> リビジョン フィールドは、PCoIP プロセッサのリビジョン コードを表示します。TERA1x00 Revision A silicon は 0.0 を示し、TERA1x00 Revision B silicon は 1.0 を示します。

ブートローダー情報

ブートローダ情報は、現在の PCoIP ブートローダの詳細を反映しています。

- <Bootloader Version>
  現在の PCoIP ブートローダのバージョン
- <Bootloader Build ID>
  現在の PCoIP ブートローダのリビジョン コード
- <Bootloader Build Date>
  現在の PCoIP ブートローダのビルド日付

<User Settings> ウィンドウ

<User Settings> ウィンドウでは、マウスおよびキーボードの設定、および PCoIP 画像の品質を定義するウィンドウ タブにユーザーがアクセスできます。

User Settings メニューには、以下のタブがあります。

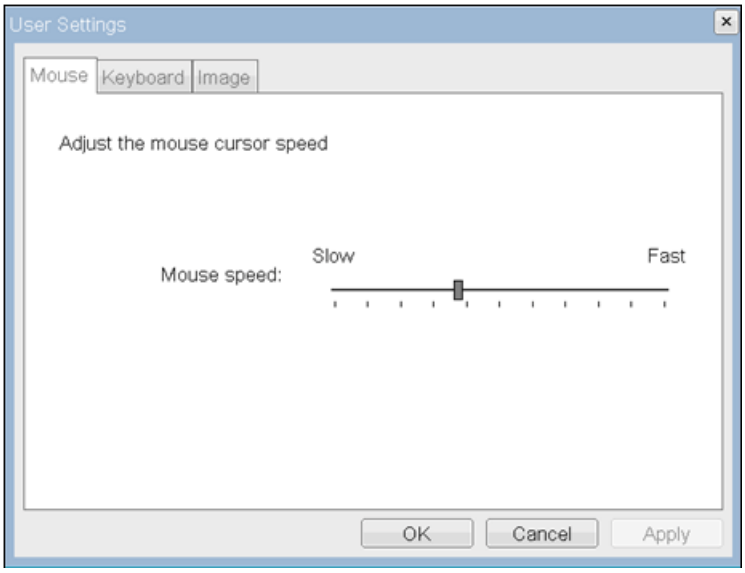
- <Mouse>
- <Keyboard>
- <Image>

<Mouse> タブ

<Mouse> タブでは、ユーザーが OSD および RDP セッションのマウス カーソル速度設定を変更することができます。

OSD のマウス カーソルの速度設定は、ローカル キーボード ホスト ドライバの機能を使用していない限り、PCoIP セッションがアクティブなときのマウス カーソルの設定には影響を与えません (詳細についてはPCoIP ホスト ソフトウェア ユーザー ガイドを参照してください)。

図 2-19:<Mouse>



- <Mouse Speed>
  <Mouse Speed> フィールドでは、ポータルのマウス カーソルの速度を設定することができます。

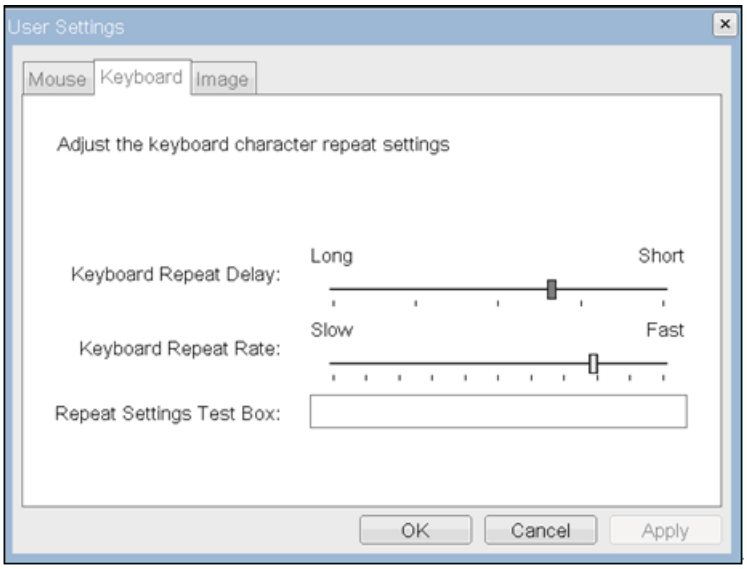
  <Mouse Speed> は、PCoIP ホスト ソフトウェアでも設定することができます。PCoIP ホスト ソフトウェアの使用の詳細については、PCoIP ホスト ソフトウェア ユーザー ガイドを参照してください。

<Keyboard> タブ

<Keyboard> タブでは、ユーザーが OSD および RDP セッションにおけるキーボード リピート設定を変更できます。

OSD のキーボード設定は、ローカル キーボード ホスト ドライバの機能を使用していない限り、PCoIP セッションがアクティブなときのキーボード設定には影響を与えません (詳細についてはPCoIP ホスト ソフトウェア ユーザー ガイドを参照してください)。

図 2-20:<Keyboard>



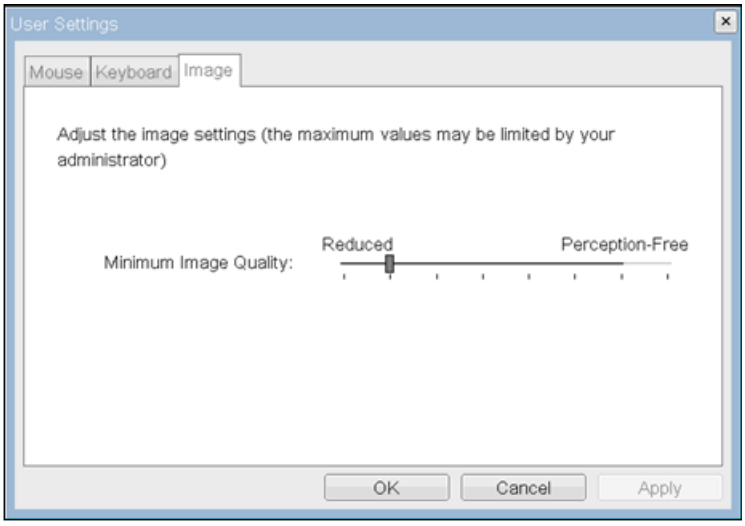
- <Keyboard Repeat Delay >
  <Keyboard Repeat Delay> フィールドでは、ユーザーがポータルのキーボード リピート遅延を設定できます。
- <Keyboard Repeat Rate>
  <Keyboard Repeat Rate> フィールドでは、ユーザーがポータルのキーボード リピート速度を設定できます。
- <Repeat Settings Test Box >
  <Repeat Settings Test Box> フィールドでは、ユーザーが選択したキーボードの設定をテストすることができます。

<Image>

<Image> タブでは、ユーザーが PCoIP システム上の画像設定を変更できます。

画像パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-21:<Image>



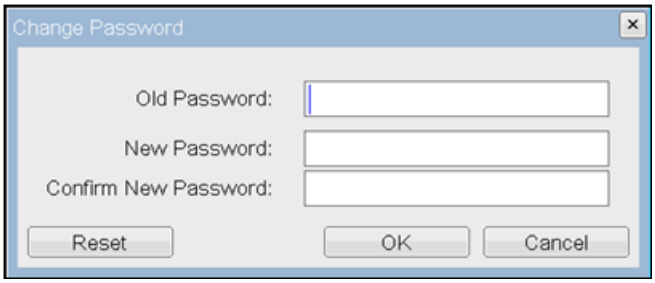
- <Minimum Image Quality>
  <Minimal Image Quality> スライダで、ユーザーがネットワークの帯域幅が限られているときの画質とフレーム レートとのバランスをとることができます。使用状況によっては、高いフレーム レートで低い画質を、もしくは低いフレーム レートで高い画質を選択する必要があります。
  ネットワーク帯域幅が制限されていて画質が低下する場合には、スライダを <Reduced> の方に動かします。
  ネットワークの帯域幅が制限されていない場合には、PCoIP システムは <Minimum Image Quality> の設定と無関係に <perception-free> の画質を維持します。

<Password> ウィンドウ

<Password> ウィンドウでは、管理者がデバイスの管理パスワードを更新することができます。これは Web インターフェイスとローカルの <OSD> GUI に影響することに注意してください。

- パスワードを忘れるとポータルが使用できなくなる場合があるため、ポータル パスワードをアップデートするときには注意が必要です。
- パスワードも、Web ページ管理インターフェイスを使用して更新することができます。
- 一部の PCoIP デバイスではデフォルトでパスワードが無効になっており、この <Password> ウィンドウが使用できない場合があります。パスワード保護は、PCoIP 管理コンソールから有効にすることができます。

図 2-22:<Change Password>



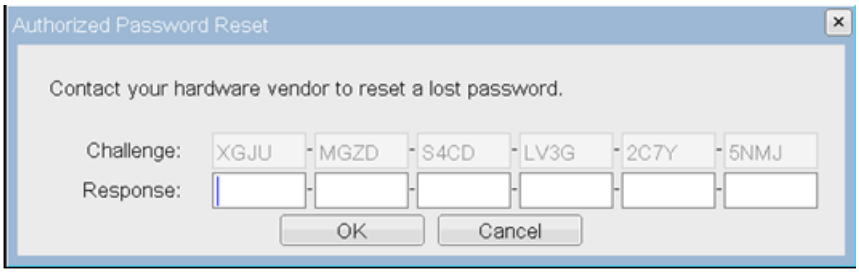
- <Old Password>
  変更を有効にするには、<Old Password> フィールドが現在の管理パスワードに一致しなければなりません。
- <New Password>
  <New Password> フィールドは、Web インターフェイスとローカルの OSD GUI の両方の新しい管理パスワードとなります。
- <Confirm New Password>

変更を有効にするには、<Confirm New Password> フィールドが <New Password> フィールドに一致しなければなりません。

- <Reset>
  ポータルのパスワードがわからなくなった場合には、<リセット> ボタンを使用して管理者がベンダーに回答コードを問い合わせることができます。チャレンジ コードをベンダーに送信することができます。ベンダーは問い合わせについて確認し、承認が下りた場合には回答コードを返信します。
  回答コードが正しく入力されると、ポータルのパスワードが空文字列にリセットされ、管理者に対して新たなパスワードを入力するよう求めるプロンプトが表示されます。

パスワードのリセットに関する認証が必要な場合の詳細については、ポータルのベンダーにお問い合わせください。

図 2-23:<Authorized Password Reset>



PCoIP の使用法に関する説明は変更されることがあります。最新の情報については、Teradici 社の Web サイト (http://www.teradici.com) をご確認ください。

Natural Color とは?

PC を使用しているときの問題として、画面に表示される色が印刷したときの色またはスキャナーやデジタル カメラから入力されたソース画像の色と異なる場合がある、というものがあります。Natural Color は、Samsung Electronics がこの問題を解決するために開発した色管理システムです。このソフトウェアはサムスンの製品でのみ動作し、画面に表示される色を調整して印刷したときの画像の色と同じになるようにします。詳しくは、ソフトウェアのオンライン ヘルプ （F1）を参照してください。?

Natural Color はオンラインで入手できます。以下の Web サイトからダウンロードしてインストールすることができます。

http://www.samsung.com/us/consumer/learningresources/monitor/naturalcolorexpert/pop_download.html

MagicTune とは?

MagicTune は、モニターの機能についての説明とかんたんなガイドラインによって、モニターの調整をサポートするソフトウェア プログラムです。

製品のボタンを使用せずにマウスとキーボードで製品の調整を行うことができます。

ソフトウェアのインストール

1. CDをCD-ROMドライブに挿入します。
2. MagicTune セットアップ プログラムを選択しまｓう。

   ソフトウェア インストールのポップアップ画面がメイン画面に表示されない場合には、CD-ROM で MagicTune セットアップ ファイルを探してダブルクリックします。

3. インストールの言語を選択して、Next （次へ）]をクリックします。
4. 画面に表示される指示に従って以降のインストール手順を完了させます。

- このソフトウェアは、インストール後にコンピュータを再起動しないと正常に動作しない場合があります。
- コンピュータ システムと製品の仕様によっては、MagicTune アイコンが表示されない場合があります。
- ショートカット アイコンが表示されない場合には、F5 キーを押します。

インストールに関する制限と問題 (MagicTune™)

MagicTune™ のインストールは、グラフィック カード、マザーボードおよびネットワーク環境による影響を受けることがあります。

システム要件

OS

- Windows XP, Windows Vista, Windows 7

ソフトウェアの削除

MagicTune™ は、Windows の [Add or Remove Programs (プログラムの追加と削除)] からのみ削除することができます。

MagicTune™ を削除するには、以下の手順に従います。

1. [Start (スタート)] をクリックして [Settings (設定)] を選択し、メニューから [Control Panel (コントロール パネル)] を選択します。
   Windows XP では、[Start (スタート)] をクリックしてメニューから [Control Panel (コントロール パネル)] を選択します。
2. コントロールパネルの [Add or Remove Programs (プログラムの追加と削除)] アイコンをダブルクリックします。
3. [Add/Remove (追加/削除)] ウィンドウで MagicTune™ を選択してハイライトさせます。
4. [Change or Remove Programs (プログラムの変更/削除)] をクリックしてソフトウェアを削除します。
5. [Yes (はい)] をクリックすると、MagicTune™ の削除が開始されます。
6. ソフトウェアが完全に削除されたことを示すメッセージ ボックスが表示されるまで待ちます。

テクニカル サポート、FAQ (よくある質問) または MagicTune™ のソフトウェア アップグレードについては、弊社 Web サイト を参照してください。

MultiScreen とは?

MultiScreen は、複数の画面に区切ってモニターを複数のユーザーが使用できるようにします。

ソフトウェアのインストール

1. CDをCD-ROMドライブに挿入します。
2. MultiScreen セットアップ プログラムを選択しま s う。

   ソフトウェア インストールのポップアップ画面がメイン画面に表示されない場合には、CD-ROM で MultiScreen セットアップ ファイルを探してダブルクリックします。

3. インストール ウィザードが表示されたら、[Next （次へ）]をクリックします。
4. 画面に表示される指示に従って以降のインストール手順を完了させます。

   - このソフトウェアは、インストール後にコンピュータを再起動しないと正常に動作しない場合があります。
   - コンピュータ システムと製品の仕様によっては、MultiScreen アイコンが表示されない場合があります。
   - ショートカット アイコンが表示されない場合には、F5 キーを押します。

インストールに関する制限と問題 (MultiScreen)

MultiScreen のインストールは、グラフィック カード、マザーボードおよびネットワーク環境による影響を受けることがあります。

オペレーティング システム

OS

- Windows 2000
- Windows XP Home Edition
- Windows XP Professional
- Windows Vista 32 Bit
- Windows 7 32 Bit

MultiScreen では、Windows 2000 以降のオペレーティング システムが推奨されます。

ハードウェア

- 最低 32 MB のメモリ
- 最低 60 MB のハードディスク空き容量

ソフトウェアの削除

[Start (スタート)] をクリックし、[Settings (設定)]/[Control Panel (コントロール パネル)] を選択して [Add or Remove Programs (プログラムの追加と削除)] をダブルクリックします。

プログラム リストから MultiScreen を選択し、[Add/Delete (変更と削除)] ボタンをクリックします。

5 トラブルシューティング

5-1 モニターの自己診断

- 自己診断機能を使用して、製品が適切に動作しているかどうかを確認することができます。
- 製品と PC が正しく接続されているのに画面に何も表示されず、電源 LED が点滅する場合には、下記の手順に従って自己診断機能を実行します。

1. 製品と PC の電源をオフにします。
2. 製品から信号ケーブルを外します。
3. 製品をオンにします。
4. 製品が正常に動作していれば、<信号ケーブルを確認してください>というメッセージが表示されます。
   このとき、何も映っていない画面が再度表示された場合には、PC と接続に問題がないか確認してください。製品は正常に動作しています。

5-2 故障かな？と思ったら

サービスセンターにお問い合わせいただく前に以下の点をチェックしてください。問題が解決しない場合には、お客様相談ダイヤルにお問い合わせください。

画面に何も表示されない / 製品をオンにできない	
電源コードが正しく接続されていますか?	電源コードの接続状態を確認します。
画面に <信号ケーブルを確認してください>というメッセージが表示されていませんか?	PC と製品のケーブル接続を確認します。 ケーブルが接続されているのに画面にメッセージが表示される場合には、製品の /SOURCE ボタンを押して入力信号を再チェックしてください。
画面に<最適なモードではありません>というメッセージが表示されていませんか?	これは、グラフィック カードからの信号が製品の最大解像度または最大周波数を超えている場合に表示されます。 この場合には、製品に適した解像度および周波数を設定します。
画面に何も表示されず、電源 LED が 1 秒間隔で点滅していますか?	これは、省電力機能が実行されているときの状態です。 マウスをクリックするか任意のキーを押すと、画面が表示されます。
モニターのボタンが動作しません。	
キー ロック モードが有効になっていますか?	有効になっている場合は、キー ロック モードを無効にします。
色がはっきりしない / 画像が白黒で表示される	
セロファン紙越しに見たように、画面全体が 1 色で表示されていませんか?	コンピュータとの接続を確認します。 グラフィック カードをコンピュータに完全に挿入しなおします。 <カラー効果> が <オフ> に設定されているか確認します。
グラフィック カードが正しく設定されていますか?	ユーザー マニュアルを参照してグラフィック カードの設定を行います。
表示領域が突然画面の端や中央に移動する。	
グラフィック カードまたはドライバを変更しませんでしたか?	[AUTO] ボタンを押して自動調整機能を実行してください。
製品に適した解像度および周波数を変更しませんでしたか?	解像度および周波数をグラフィック カードに適した値に設定します。 (「標準信号モード表」を参照してください)
グラフィック カードが正しく設定されていますか?	ユーザー マニュアルを参照してグラフィック カードの設定を行います。
画像の焦点が合っていない	
製品に適した解像度および周波数を変更しませんでしたか?	解像度および周波数をグラフィック カードに適した値に設定します。 (「標準信号モード表」を参照してください)

色が 16 BIT (16 色) で表示される。グラフィック カードを変えた後、画面の色が変わった。	
製品のデバイス ドライバをインストールしましたか?	Windows ME/XP/2000 :[Control Panel (コントロール パネル)] → [Display (画面)] → [Settings (設定)] を選択して、再度色を設定します。
グラフィック カードが正しく設定されていますか?	新しいグラフィック カード ドライバに合わせて色を再度設定します。
モニターを接続したときに、「未知のモニターです。プラグ & プレイ (VESA DDC) モニターが見つかりました」というメッセージが表示される	
製品のデバイス ドライバをインストールしましたか?	ドライバのインストールについての説明を参照して、デバイス ドライバをインストールします。
すべてのプラグ & プレイ (VESA DDC) 機能がサポートされているかどうか、グラフィック カードのユーザー マニュアルで確認します。	ドライバのインストールについての説明を参照して、デバイス ドライバをインストールします。
コンピュータの起動時に「ビープ音」が聞こえる。	
コンピュータの起動時にビープ音が 3 回以上聞こえた場合は、コンピュータの点検を依頼してください。	
音声に関する問題	
音声が聞こえません	モニターの音声入力ポートとサウンドカードの音声出力ポートにオーディオケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 音量レベルをチェックします。
音量が低すぎます。	音量レベルをチェックします。 音量を最大に調整しても音が小さすぎる場合には、コンピュータのサウンドカードまたはソフトウェアプログラムの音量コントロールをチェックします。

5-3 FAQ

FAQ!	以下を行ってみてください!
ビデオ信号の周波数の変更方法は?	グラフィック カードの周波数を変更する必要があります。 詳しくは、コンピュータまたはグラフィック カードのユーザーマニュアルを参照してください)。
解像度の変更方法は?	Windows XP :[Control Panel (コントロール パネル)] → [Appearance and Themes (デスクトップの表示とテーマ)] → [Display (画面)] → [Settings (設定)] を選択して、解像度を変更します。 Windows ME/2000 :[Control Panel (コントロール パネル)] → [Display (画面)] → [Settings (設定)] を選択して、解像度を変更します。 詳しくは、コンピュータまたはグラフィック カードのユーザーマニュアルを参照してください)。
省電力機能の設定方法は?	Windows XP :[Control Panel (コントロール パネル)] → [Appearance and Themes (デスクトップの表示とテーマ)] → [Display (表示)] → [Screen Saver (スクリーンセーバーの設定)] を選択するか、コンピュータの BIOS 設定を使用して設定します。 Windows ME/2000 :[Control Panel (コントロール パネル)] → [Display (表示)] → [Screen Saver (スクリーンセーバーの設定)] を選択するか、コンピュータの BIOS 設定を使用して設定します。 詳しくは、お使いのコンピュータの Windows ユーザーマニュアルを参照してください。

6 詳細情報

6-1 仕様

モデル名		NC190	NC240
LCDパネル	サイズ	19インチ (48cm)	23.6インチ (59 cm)
	表示範囲	376.32 mm (H) x 301.1 mm (V)	521.28 mm (H) x 293.22 mm (V)
	ピクセル ピッチ	0.294 mm (H) x 0.294 mm (V)	0.2715 mm (H) x 0.2715 mm (V)
同期	水平	30 ~ 81 kHz	
	垂直	56 ~ 75 Hz	
表示色		16.7 M	
解像度	最適解像度	1280 x 1024 @ 60 Hz	1920 x 1080 @ 60 Hz (RB)
	最大解像度	1280 x 1024 @ 75 Hz	1920 x 1080 @ 60 Hz (RB)
入力信号、終端		RGB アナログ 0.7 Vp-p ± 5 % 分離H/V同期、コンポジット TTL レベル (V high ≥ 2.0 V, V low ≤ 0.8 V)	
最大ピクセル クロック		135 MHz	170 MHz （アナログ、デジタル）
電源		この製品は 100～240 V の電源に対応しています。標準電圧は国によって異なる場合があるため、製品背面のラベルを確認してください。	
信号コネクタ		15 ピン D-sub コネクタ	
USB		USB 2.0 X 4（ダウンストリーム）	
寸法（WxDxH）/重量		410.7 x 344.4 x 74.0 mm (スタンドを除く) 410.7 X 385.6 X 197.0 mm (スタンドを含む) / 6.2 kg	568.6 x 77.7 x 341.9 mm (スタンドを除く) 6.25 kg (スピーカーあり), 6.05 kg (スピーカなし) 568.6 x 226.0 x 385.2 mm (スタンドを含む) 8.65 kg (スピーカーあり), 8.45 kg (スピーカーなし)
VESA 取り付けインターフェイス		100 mm x 100 mm	200 mm x 100 mm / 100 mm x 100 mm
環境条件	動作時	温度: 10 ˚C ~ 40 ˚C (50 ˚F ~ 104 ˚F) 湿度:10～80 %、結露しないこと	
	記録装置(梱包保存時)	温度: -20 ˚C ~ 45 ˚C (-4 ˚F ~ 113 ˚F) 湿度:5～95 %、結露しないこと	
傾き		0 ˚ ~ 20 ˚	

VCCI－B

この装置は、クラスＢ　情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを
目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、
受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

設計および仕様は事前の通知なしに変更されることがあります。

6-2 省電力機能

この製品は、一定の時間製品が使用されなかったときには電力消費を抑えるために画面を自動的に消す省電力機能を備えています。製品が省電力モードに入った場合には、電源 LED の色が変わり、省電力モードに入っていることを示します。製品が省電力モードに入っているときは、電源はオフにはならず、キーを押すかマウスをクリックすると画面が再度表示されます。ただし、省電力機能は製品が省電力機能を備えているコンピュータに接続されているときにのみ動作します。

モード	通常動作	電源オフ (スタンバイ)	電源オフ (本体スイッチ オフ)
電源インジケーター	オン	オフ	オフ
消費電力	NC190 :37 ワット	2.7 ワット未満	0 ワット
	NC240 :67 ワット		

電源遮断スイッチがない場合には、消費電力は電源コードを切り離したときにのみ「0」になります。

6-3 有料サービスに関する責任 (お客様の負担)

サービスをご希望の場合、以下の条件に該当するときは、保証内容に関わらず、サービス技術者の出張費をいただくことがあります。

製品に異常がない場合

製品の清掃、調整、説明、再設置など

- サービス技術者が、テレビの使用方法の説明、または、製品の分解を必要としないオプション類の調整を行う場合.
- 外部環境 (インターネット、アンテナ、有線信号など) による異常の場合.
- 購入後に初めて製品を設置した後に、製品の再設置や追加のデバイスの接続を行う場合。
- 別の場所や別の家に製品を再設置する場合。
- 他社製品の使用方法に関する説明をお求めの場合。
- ネットワークまたは他社のプログラムの使用方法に関する説明をお求めの場合。
- 製品に対するソフトウェアのインストールやセットアップをお求めの場合。
- サービス技術者が製品内部のホコリや異物の除去または清掃を行う場合。
- 製品を通信販売やインターネット ショッピングで購入後、追加で設置作業をお求めの場合。

お客様の過失によって製品が損傷した場合

お客様の誤った使用または修理による製品の損傷

以下の場合、製品が損傷することがあります。

- 外部から衝撃を加えたり、落としたりした場合
- Samsung の認証を受けていないサプライ品または別売り製品を使用した場合
- Samsung Electronics Co., Ltd. の依託サービス会社や協力会社の技術者以外の者が修理を行った場合
- お客様自身で製品の改造や修理を行った場合。
- 規定外の電圧や電源を使用した場合。
- ユーザー マニュアルに記載されている "注意" を守らなかった場合。

その他

- 自然災害 (落雷、火災、地震、洪水など) によって製品が故障した場合。
- 消耗部品 (バッテリー、トナー、蛍光灯、ヘッド、バイブレータ、ランプ、フィルタ、リボンなど) を使い切った場合。

製品に異常がないにも関わらずサービスをお求めの場合、別途サービス料金が発生することがあります。まずはユーザー マニュアルをお読みください。